平成２８年度

教育委員会点検・評価報告書

平成２９年１１月

登別市教育委員会

目　　次

Ⅰ 教育委員会の点検・評価について・・・・・・・・・・・・　２

Ⅱ 評価の手法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

１ 点検・評価の対象
２ 実施の流れ

Ⅲ 評価結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

１ 教育委員会の活動状況の概要報告・・・・・・・・・・・・・　３
２ 重点施策の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
３ 重点施策の評定結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５１

Ⅳ 点検・評価に関する学識経験者の意見等・・・・・・・・　５３

Ⅴ 評価のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５４

Ⅵ 参考資料

１　平成２８年度教育行政執行方針
２　教育に関する具体的な計画とその点検・評価の流れ

Ⅰ 教育委員会の点検･評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）の改定により、毎年教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされ、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関する学識経験を有する方の知見の活用を図ることとされました。

登別市教育委員会では、効率的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たしていくため、地教行法に基づき、平成２８年度の教育委員会の活動状況の報告と基本方針及び重点項目の主な施策（１８項目）について点検・評価を行い、教育に関する学識経験を有する方々の意見を付して「教育委員会点検・評価報告書」としてまとめました。

本報告書を公表することにより、市民の皆様に教育に関する事務の管理及び評価の状況について説明するとともに、今後の施策・事業の展開に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図ってまいります。

Ⅱ 評価の手法

１ 点検･評価の対象

登別市教育委員会の点検・評価は、教育委員会の活動状況の他、平成２８年度の教育行政執行方針に位置づけられた施策・事業を点検・評価の対象として実施しました。

２ 実施の流れ

⑴ 教育委員会の活動状況の概要報告

教育委員会の１年間の様々な活動について

⑵ 平成２８年度の重点施策の管理及び執行状況の評価

・教育行政執行方針に位置づけられている重点施策を評価しました。

点 検 内 容	当該年度の教育行政執行方針の重点内容
取 組 状 況	当該年度内に実施した取組の概要
評　　価	取組の実施状況に対する評価
今後の方向性	今後の取組を進める上での課題や対応の方向

⑶ 教育行政執行方針における重点施策の評定結果

・４段階（Ａ～Ｄ）で、評価を実施しました。

Ａ：達成しているもの
Ｂ：おおむね達成しているもの
Ｃ：達成見込みであるが一部課題があるもの
Ｄ：達成に向け困難な課題があるもの

⑷ 点検・評価に関する学識経験者の意見等

・点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する行政外部の方からの意見、助言をいただきました。

学識経験者

氏　　名	所　　属　　等
石　井　憲　一　氏	元日本工学院北海道専門学校　参与
福　川　喜　衛　氏	登別市退職校長会　会長
吉　野　幸　広　氏	前登別市郷土資料館　館長

Ⅲ 評価結果

１ 教育委員会の活動状況の概要報告

(1) 教育委員会の活動状況

教育委員会の会議については、毎月下旬に開催しました。必要に応じて開催する臨時会議は、２８年度は行いませんでした。

会議においては、登別市教育委員会教育長に対する事務委任規則に従って、教育長委任事務以外の事務における議案の提案理由や説明が行われた後、各委員からの質問・意見などの審議を経て、いずれも可決、了承されました。また、事務局からの情報提供や各種課題、事業の進捗状況、その他事項の報告について、意見交換を行いました。

(2) 平成２８年度　登別市教育委員会「定例会議」の概要

第１回 会議	4/21 16:30	報告第1号　　教職員の懲戒処分内申の結果について（非公開） 議案第1号　　登別市社会教育委員の委嘱について 情報提供1 平成28年度登別市立小・中学校の児童生徒・学級数について 2 平成28年度登別市立小・中学校の主要行事について 3 平成27年度土曜授業事業実績及び平成28年度事業計画 4 第41回登別こいのぼりマラソンについて 5 平成28年度登別市小中学校「校長会」「教頭会」三役等 6 平成28年度教育委員会事務局職員名簿 意見交換から（委員の意見・感想） ・児童数の減少が気になった。特に富岸小学校区は子育て世代の減少でその傾向が続くのでは。 ・特別支援学級へのアプローチは難しいところもあると思うが、個々の教育支援に配慮した対応をお願いしたい。
第２回 会議	5/26 16:30	議案第2号　登別市立図書館協議会委員の任命について 議案第3号　登別市社会教育委員の委嘱について 議案第4号　登別市スポーツ推進委員の委嘱について 情報提供1　運動会の割り振り 2　千葉真子スポーツ講演会及び第41回登別こいのぼりマラソンについて 3　北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会について 4　学校施設の国の予算の動きについて 5　幌別中学校修学旅行について 6　教育行政改革に係る今後の方向性について 意見交換から（委員の意見・感想） ・人の命が一番大切なので、国においても耐震化における財源が必要だという考えにもっと立ってほしい。 ・マラソンは好天に恵まれてよかった。前日に講演会に関しては、各種大会の影響もあったようだが、子どもたちのより一層の参加が望ましい。
第３回 会議	6/30 16:30	報告第2号　平成28年第2回登別市議会定例会一般質問について 議案第5号　平成27年度教育行政事務の管理執行状況の点検・評価に係る学識経験者の活用及び選任について

		議案第6号　教職員の懲戒処分に係る内申について（非公開） 議案第7号　教職員の懲戒処分に係る内申について（非公開） 情報提供1　平成28年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業について 2　中学生のピロリ菌検査実施状況について 3　第5次登別市社会教育中期計画の策定について 4　第66回社会を明るくする運動メッセージ伝達式の参加について 5　教育委員会広報「教育のぼりべつ」の発行について 6　携帯・スマホ等アンケート分析について 7　全国コミュニティ・スクール研究大会in由利本荘について 8　平成28年度工事発注状況について 意見交換から(委員の意見・感想) ・デンマークの交流派遣事業には、世界情勢や自己負担等もあるとは思うが、積極的に参加をしてほしい。
第４回 会議	7/21 16:30	議案第8号　登別市児童生徒就学援助規則の制定について 議案第9号　登別市特別支援教育就学奨励費規則の制定について 情報提供1 第5次登別市社会教育中期計画の策定について 2 「第4回のぼりべつ夏祭り」の特別巡回について 3 ＡＬＴ新規招致者について
第５回 会議	8/25 16:30	報告第3号　教育委員会事務局職員の人事異動発令に係る臨時代理の報告について 報告第4号　教職員の懲戒処分内申の結果について（非公開） 報告第5号　教職員の懲戒処分内申の結果について（非公開） 議案第10号 平成28年度全国学力・学習状況調査　北海道版結果報告書への市町村別結果の掲載について 情報提供1　ＡＬＴ新規招致者（トーマス）の紹介について 2　「子どもの本のつどい登別大会」の報告 3　総務・教育委員会帯同報告「小中一貫教育」について 4　人形浄瑠璃「文楽」の公演について 視察　郷土資料館特別展「登別に鉄道が走った」 意見交換から(委員の意見・感想) ・全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書への市町村別結果の掲載に関する現場の先生方や保護者の意見等があれば、大切にしてほしい。 ・帯同報告での徳島県の小中一貫教育については、その地域に応じていろいろな選択肢があり、そこに暮らす住民や子どもたちが幸せと思えるような学校の在り方を選択していく時代だと改めて感じた。
第６回 会議	9/29 16:30	議事日程第1　登別市教育委員会委員長の選挙について（非公開） 第2　登別市教育委員会委員長職務代理者の指定について（非公開） 報告第6号　登別市教育委員会教育長の選任報告について 報告第7号　市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告について 報告第8号　平成28年第3回登別市議会定例会一般質問について 報告第9号　室蘭市への区域外就学の見直しについて

		議案第11号 第5次登別市社会教育中期計画の策定について 議案第12号 平成27年度教育行政事務の管理執行状況の点検・評価報告について 情報提供1 学校図書室の夏休み限定開放の実施状況について 2 第7回学校給食展について 3 市民スポーツ・健康フェスティバルの開催について 意見交換から(委員の意見・感想) ・市議会定例会の一般質問に関して、スポーツの合宿誘致については、工学院の柔道整復科と連携をしてオフシーズンのケアをするというのも一つと考える。 ・室蘭市への区域外就学の見直しについては、説明する機会を重ねて住民の方の理解を得るように配慮していることが理解できた。
第７回 会議	10/20 16:30	議事日程第1　登別市教育委員会教育長職務代理者の指名について（非公開） 議案第13号　平成27年度教育行政事務の管理及び執行状況の点検・評価報告について 情報提供1 平成28年度登別市功労者表彰及び登別市表彰の被表彰者について 2 平成28年度全国学力・学習状況調査結果のポイントについて 3 平成28年度教育ふれあいウィークについて 4 教育委員会広報「教育のぼりべつ」の発行について 5 生涯学習事業【実績と点検評価】について 6 人形浄瑠璃　文楽の公演について 7 市民スポーツ・健康フェスティバルについて 8 文化の日講演会について 9 読書週間講演会について 意見交換から(委員の意見・感想) ・全国学力・学習状況調査では、全国との差が縮まっているという認識のもと、平均正答率に一喜一憂しない方がいい。 ・放課後学習を学び直しの機会としてとらえ、今以上の参加を促してもらいたい。 ・子どもはちょっとしたきっかけで学習に取り組む姿勢が変わるもの。大人がそのきっかけをつくってあげることが大事。
第８回 会議	11/17 16:30	議案第14号 登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 情報提供1 教育ふれあいウィークの実施状況について 2 携帯電話やスマートフォン等の調査結果の報告について 3 家族の時間づくりプロジェクトの実施について 4 第12回図書館まつり 5 登別市郷土資料館における展示資料の紛失について 意見交換から(委員の意見・感想) ・スマホ関係の取組においては、子どもたちの意見を取り入れることが望ましい。 ・スマホやゲーム機でネットを見て体調を崩す例も聞いている。 ・フィルタリングに関する意識を高めていくことが大切。
第９回 会議	12/22 16:30	報告第10号 市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について 報告第11号 平成28年度第4回登別市議会定例会一般質問について 報告第12号 教職員人事の内申に係る臨時代理について（非公開）

		報告第13号 教育委員会事務局職員の懲戒処分及び人事異動に係る臨時代理について（非公開） 議案第15号 平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について 議案第16号 登別市立学校学校医等表彰について 情報提供1 平成29年度登別市教育行政執行方針について 2 登別市指定文化財の指定について（登別化石林の炭化木） 3 平成29年登別市成人祭について 4 平成28年度家族の時間づくりプロジェクト プレ実施の施設利用状況について 意見交換から(委員の意見・感想) ・家族の時間づくりプロジェクトでは、小さい時から登別温泉に慣れ親しむよい機会と考える。 ・温泉については、小学校で入湯体験も行っている。郷土を知るよい機会になっている。
第10回 会議	1/26 16:30	議案第17号　平成29年度登別市教育行政執行方針について 議案第18号　登別市重大事案対策委員会及び登別市いじめ調査委員会条例の制定について 議案第19号　登別市児童生徒就学援助規則の一部改正について 議案第20号　教職員の懲戒処分に係る内申について 議案第21号　登別市指定文化財の指定について 情報提供1 公の施設に係る指定管理者の指定について 2 平成29年度登別明日中等教育学校の合格状況について 3 平成28年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果について 4 平成28年度卒業式出席者の調整について 5 管内教育委員会委員研修会について 6 平成28年度図書館要覧 意見交換から(委員の意見・感想) ・重大事案対策委員会等について、事案発生の場合迅速に動ける組織が望ましい。 ・いじめは初期のうちに学校全体で組織的に対応することが大切。
第11回 会議	2/23 16:30	報告第14号 教育委員会事務局職員の人事異動発令に係る臨時代理の報告について 報告第15号 市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理の報告について 議案第22号 登別市文化財審議会委員の委嘱について 議案第23号 登別市ネイチャーセンター条例施行規則の一部改正について 議案第24号 登別市立学校管理規則の一部改正について 情報提供1 平成29年度登別市教育行政執行方針について 2 小中一貫に向けての取組について 意見交換から(委員の意見・感想) ・小中一貫については、それぞれの学校種ごとが対等で話し合うことが望ましい。 ・地域の考えをどう取り入れて9年間を展開するかが大切。 ・取り組む中で、子どもたちがこの街を愛し育っていく視点を持ってほしい。

第12回 会議	3/23 16:30	**報告第16号 教職員人事の内申に係る臨時代理の報告について** **報告第17号 平成29年第1回登別市議会定例会一般質問について** **議案第25号 登別市重大事案対策委員会規則の制定について** **情報提供1 郷土資料館特別展について** **2 平成29年度進路状況について** **3 平成28年度土曜授業事業実績及び平成29年度事業計画について** **4 平成29年度市内小中学校入学式について** 意見交換から(委員の意見・感想) ・土曜授業では、コミュニティ・スクールの取組とも絡めて、小中一体となって取組内容を工夫してほしい。 ・保護者や地域の方が土曜授業の中で一緒のできるものとか保護者や地域の方に覚えてほしいこととかを取り組むといいと思う。 ・鷲別小学校が新しくなり、地域の方も関心が高い。どんな学校なのか土曜授業の機会に見ることができてとてもいい。 ・小中一貫の取組をもっと宣伝をし根付いてくると、土曜日に学校に足を運ぶ方も増えると思われる。

(3) 調査活動の実施状況　教育委員会委員による小中学校の教育活動の視察や研修活動の概要

①公開研究会等の視察

10/28　幌別中学校：武田教育長・垣内委員・赤井委員
11/25　富岸小学校：武田教育長・赤井委員
11/29　西陵中学校：武田教育長・垣内委員・赤井委員・武田教育長
2/ 3　幌別小学校：武田教育長・赤井委員

②教育ふれあいウィーク視察

10/29・11/5　市内一斉学校公開日「ふれあいウィーク」土曜授業視察
青葉小（開校 40 周年祝う会）武田教育長　垣内委員

③北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会 紋別市 7/26･27
武田教育長・森口委員・赤井委員

④胆振管内教育委員会委員研修会 登別グランドホテル 2/15･16
武田教育長・垣内委員・森口委員・赤井委員

⑤入学式出席

幌別小学校(4/7)	垣内委員長	幌別中学校(4/7)	垣内委員長
鷲別中学校(4/7)	森口委員	緑陽中学校(4/7)	赤井委員
鷲別小学校(4/8)	森口委員	富岸小学校(4/8)	赤井委員
登別小学校(4/8)	堅田委員		

⑥運動会参観

幌別西小学校・青葉小学校(6/5) 垣内委員長　富岸小学校(6/19) 武田教育長・赤井委員
幌別小学校・幌別東小学校(6/11) 武田教育長　鷲別小学校(6/19) 武田教育長
登別小学校(6/11) 武田教育長・堅田委員　若草小学校(6/19) 垣内委員長・武田教育長

⑦学芸会参観

登別小学校(10/16)　堅田委員

⑧卒業証書授与式出席

幌別中学校(3/11)　垣内委員　西陵中学校(3/14) 武田教育長
鷲別中学校(3/14)　森口委員　緑陽中学校(3/14) 赤井委員
登別中学校(3/15)　堅田委員　若草小学校(3/17) 武田教育長
青葉小学校(3/17)　垣内委員　鷲別小学校(3/22) 森口委員
富岸小学校(3/17)　赤井委員　登別小学校(3/17) 堅田委員
幌別小学校(3/22)　武田教育長

⑨その他

第66回社会を明るくする運動メッセージ伝達式(7/4 緑陽中学校) 武田教育長・赤井委員
学校運営協議会主催ソフトボール交流会(10/8　若草小学校) 武田教育長
北海道登別明日中等教育学校10周年(10/8)
記念式典 垣内委員長・武田教育長・赤井委員・堅田委員
祝賀会　武田教育長・森口委員
青葉小リンク祭り(1/22)　武田教育長・垣内委員
リンク30周年(2/11)　武田教育長・垣内委員

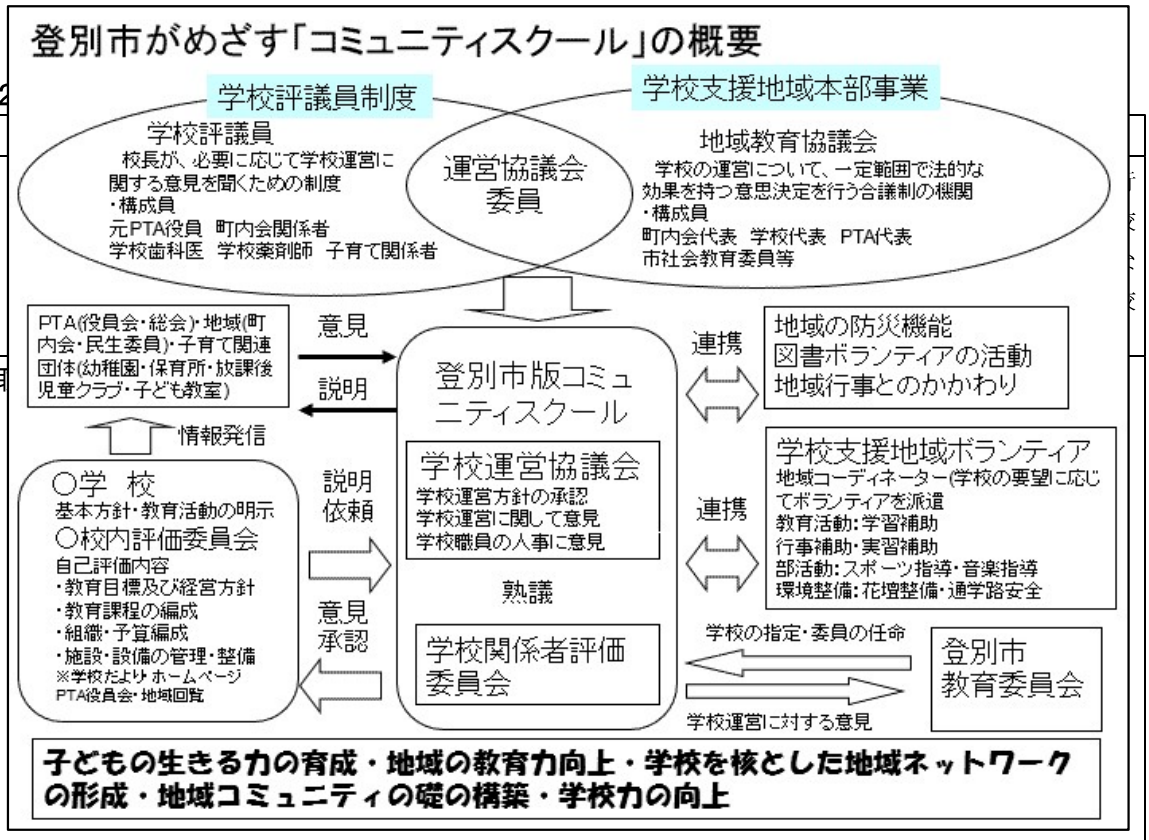
※法律の改正に基づき、教育長と教育委員長を一本化した新たな責任者（新教育長）の設置を次のように行いました。

平成28年10月22日まで

委員長	垣内登紀子
委員	森口　達
委員	赤井　秀輝
委員	堅田　裕
教育長	武田　博

平成28年10月23日から

新教育長	武田　博
委員	垣内登紀子
委員	森口　達
委員	赤井　秀輝
委員	堅田　裕



○学校運営協議会の活動状況

	月	日	主　な　議　題
幌	6	30	学校経営方針 放課後学習サポート ふれあい農園等体験活動 校区内交通安全対策
別	11	30	生活の様子 いじめ防止の取組 学力体力向上対策 敷地内安全確保の取組 学校評価
小	2	23	生活の様子 学校評価結果 不審者対応 次年度学校経営方針
登	6	23	コミュニティ・スクール　今年度学校経営方針　いじめ防止基本方針　学校保健委員会
別	10	5	児童の学校生活　今後の教育活動
小	11	24	（中学校合同）幼小中の活動報告　中学校区の園児・児童・生徒の学力の向上について
	3	13	学校関係者評価　次年度の行事予定　次年度の学校経営方針
若	5	27	組織運営　学校経営方針　道徳教育推進　学力・体力向上　生徒指導　他
草	7	21	学校評価計画書　道徳的な実践の取組　生徒指導　スポーツ交流会
小	10	5	スポーツ交流会準備
	12	16	学校評価　道徳的な実践の取組　生徒指導　スポーツ交流反省　情報交流

	3	9	学校評価結果を基にした学校関係者評価　次年度の学校運営協議会の方向性　他
鷲	5	30	コミュニティ・スクールの目指すもの　学校経営方針と重点　学校改築記念行事等
別	9	26	学校経営進捗状況　学校改築記念行事と130周年記念事業
小	1	11	学校関係者評価委員会　次年度年間行事予定　記念事業設立準備委員会開催について
幌	6	27	年間活動計画等　市民演芸会への参加について　その他
東	11	17	学校中間評価　学力向上の取組　全国学力調査結果　いじめ防止の状況　駒おどり
小	3	2	学校評価結果と改善策検討
幌	5	25	コミュニティ・スクールの基本的な考え方確認　学校経営方針　小中連携事業
西	11	5	子どもの状況と課題共有　学力・体力調査結果、豊かな心の育成に関する児童の状況他
小	2	22	学校評価結果を踏まえた成果と課題の共有　次年度学校経営構想
富	6	7	コミュニティ・スクールについて　学校経営方針の承認　教育活動の説明
岸	11	29	特色ある教育活動 学力・体力向上 学校評価・学校関係者評価 不登校いじめ対策委員会
小	2	27	今年度の取組　学校関係者評価　次年度の向性　120周年記念事業反省
青	5	17	本年度の学校運営　全国学力調査　開校40周年記念事業　学校支援ボランティア
葉	12	14	全国学力調査結果からの取組 全国体力調査概要 市ケータイスマホ調査結果からの取組
小	3	8	学校関係者評価　次年度学校経営方針と行事予定　次年度の学校運営協議会
幌	4	18	学校経営方針　本年度の教育活動　いじめ防止基本方針
別	8	29	1学期の成果と課題　授業評価の結果と改善策　保健室の利用状況　いじめ不登校の状況
中	2	2	学校評価結果　次年度学校経営方針と重点（案）
西	5	31	学校の概要　今年度の学校経営　生徒の状況　情報交換
陵	12	17	2学期の様子　全国学力調査結果　学校評価（今後の予定）
中	3	2	3学期の様子　学校評価　意見・情報交換
鷲	6	11	学校経営方針　学校運営協議会の概要と組織の説明　部門ごとのリーダー選出　他
別	10	27	３つのコミュニティ（保健・環境、学習支援、安全支援）活動反省と次年度の展望
中	2	23	学校評価・学校関係者評価の結果
登	6	9	学校改善プラン　土曜授業　職業体験活動生徒受け入れ依頼　熊舞披露　小中一貫教育
別	11	24	（小学校と合同）学校運営中間報告　小中一貫教育　学校保健委員会（体力向上）
中	2	21	学校経営反省　学校評価分析結果　次年度学校経営方針　委員退任
緑	6	8	学校運営協議会設置要項と計画　学校経営方針
陽	12	9	2学期の教育活動　教職員の事故報告　意見交換
中	3	22	学校評価　全国体力調査結果　学校改善プラン説明　意見交換

（◇　学校支援地域本部事業の詳細はP42からを参照）

○各校の土曜授業取組状況　※原則として土曜授業は公開。

実 践 校（道の指定を受けて3年目）

	月	日	1校時	2校時	3校時	備　考
幌	4	16	授業	授業	授業	学級懇談会・学校説明会
別	5	28	授業	花壇整備・田植え体験		地域連携行事
中	6	25	授業	授業	中体連報告会	集会活動
	7	16	授業	授業	授業	学級懇談会
	8	27	授業	授業	学校祭事前集会	学校祭準備
	9	10	授業			合唱中間発表(音楽)
	10	1	授業	地域合同避難訓練（東小参加）		地域連携行事

	11	5	授業			ふれあいデー
	12	17	授業			チャレンジテスト
	1	21	1年　授業 2年　認知サポーター 3年　茶道体験	1年　授業 2年　認知サポーター 3年　授業	1年　授業（学級懇談） 2年　修学旅行説明会 3年　授業	コミュニティ・スクール事業 （2年　認知症サポーター養成講座　3年　茶道体験）

協　力　校

	月	日	1校時	2校時	3校時	備　考
幌別小	7	9	短縄チャレンジ			短縄以外、版画写生会他
	8	27	写生・版画			文化的行事
	9	24	授業			道徳一斉公開
	11	5	授業			修学旅行プレゼン(5・6年)
登別小	8	27	OMB練習・収穫祭	体力テスト	授業	地域行事参加(地獄祭り)
	10	15	授業			学芸会練習・準備
	10	29	授業	すもう学習まとめ	道徳一斉公開	ふれあいデー
	12	3	授業	授業	OMB定期演奏会	※OMB＝鬼っこマーチングバンド
若草小	4	16	授業			
	7	9	授業（国語・算数）			チャレンジテスト
	7	23	授業	終業式	授業	
	9	24	授業		津波対応避難訓練	地域と協働訓練
	10	29	授業（道徳）			ふれあいデー
	11	12	授業（国語・算数）		集団下校訓練	
	12	10	授業（国語・算数）		大掃除	チャレンジテスト
鷲別小	4	23	授業			PTA総会・学級懇談
	8	27	芸術鑑賞会		授業	新体育館落成記念芸術鑑賞
	10	29	授業			ふれあいデー
	12	3	授業			学級懇談
幌東小	8	27	授業			東っ子タイム発表会
	10	1	地域合同避難訓練(幌中参加)			地域連携行事
	10	29	授業			ふれあいデー
	12	3	授業（4～6校時）			市民演芸会　駒おどり発表
幌西小	7	9	全校体力テスト			
	8	27	授業	地震津波避難訓練（西陵中参加）		地域連携行事
	11	5	授業（3～6年　アウトメディア講座）			ふれあいデー
	12	10	標準学力検査		長縄大会	
富岸小	5	7	防犯教室		集団下校	
	9	24	津波避難訓練		学級活動	地域協働避難訓練
	11	5	授業			ふれあいデー
	12	3	小中連携事業		学級活動	なわとび集会
青葉小	4	16	授業			全体懇談会・PTA総会
	5	14	授業	携帯・スマホ教室	授業	
	8	27	授業	芸術鑑賞会		文化的な全校行事

	11	5	授業		開校40周年集会	ふれあいデー
西陵中	7	9	授業	地域清掃		地域連携行事
	8	27	授業	地震津波避難訓練（幌西小参加）		地域連携行事
	11	5	授業（道徳）			ふれあいデー
	12	17	1・2年～授業　3年～合格祈願餅つき			地域連携行事
鷲別中	7	16	授業		道徳	チャレンジテスト活用
	9	10	学級活動	学級活動	学級活動	
	11	5	学級活動	生徒総会	道徳	ふれあいデー
	12	10	校内主張大会	生活向上集会	道徳	
登別中	4	16	授業		学級懇談会	
	7	9	地獄祭り練習		町内クリーン作戦	地域貢献
	10	29	授業			ふれあいデー
	1	21	授業	認知症キッズサポーター養成講座		苫小牧包括支援センター
緑陽中	4	23	授業			参観日・PTA総会
	7	16	授業			参観日
	11	5	授業			ふれあいデー
	11	12	授業		講演会	

評　　価	学校と家庭、地域を結ぶ一方法として「コミュニティ・スクール」を導入し３年になった。各学校では運営協議会を中心に特色ある取組が展開され、子どもたちを取り巻く教育環境の充実と地域の活性化につながった。「土曜授業」では、学校支援地域本部事業と連携して多様な教育活動が展開され、土曜日の学習環境並びに平日の教育活動の充実が図られた。
今後の方向性	各学校の運営協議会の活動を継続して支援していくとともに、活動の啓発を促していく。また、小学校と中学校の一層のつながりを促し、「地域とともにある学校づくり」のさらなる推進を図っていく。土曜日の学習環境については「土曜授業」だけではなく、地域で行われている「土曜学習」も含めてとらえながら、さらなる充実を図っていく。

項　　目	2　確かな学力の向上
点検内容	校長会と共同で設置している教育課程課題検討委員会で協議をしながら、指導の改善に努める。また、学力の二極化などの課題に対応するため、学校が取り組む補充学習に加え、教育支援室や地域の方々による「放課後学習教室」の充実を図り、児童生徒の基礎学力の定着や学ぶ意欲の向上に努める。

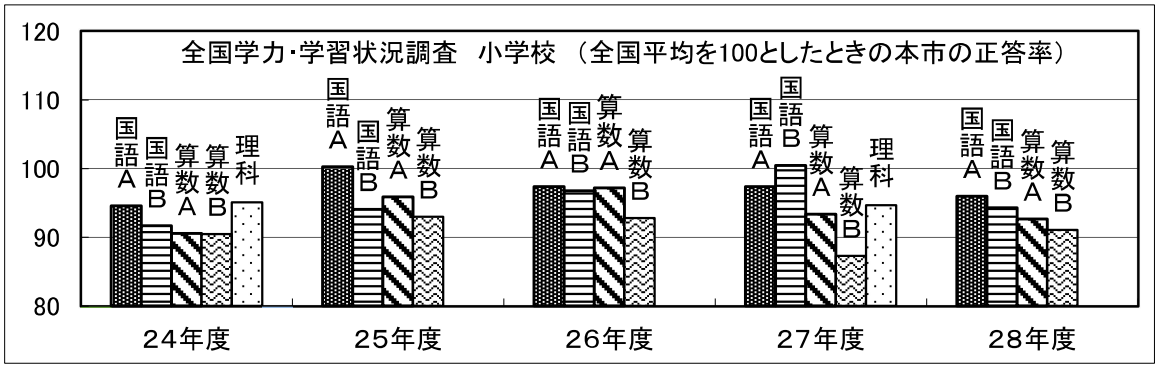
取組状況

○全国学力・学習状況調査（対象：市内小６年生・中３年生）の結果分析と課題の明確化

(1)全国平均を１００とした時の登別市の正答率の状況

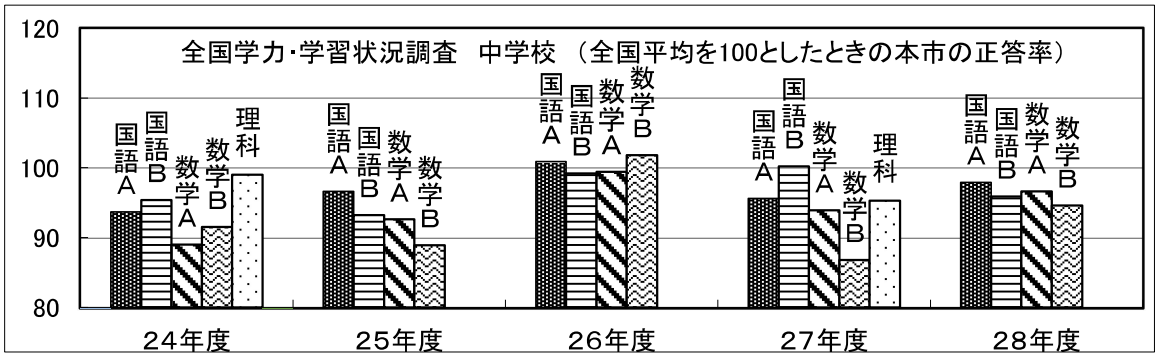
小学校

・全ての教科において全国の平均正答率を下回っているが、領域別にみると国語Ａでは、「話すこと・聞くこと」で全国平均を上回っている。算数Ｂでは、「図形」で全国平均に最も近くなっている。



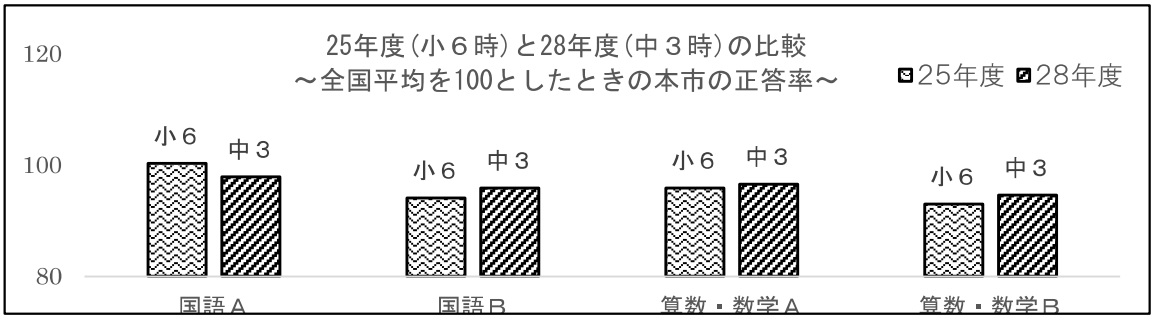
中学校

・全ての教科において全国の平均正答率を下回っているが、領域別にみると国語Ａの「書くこと」、数学Ａの「資料の活用」で全国平均を上回っている。



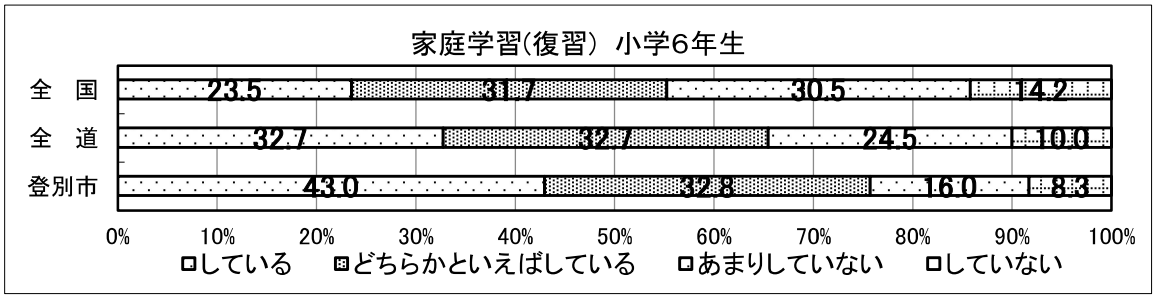
(2)小学６年時と中学３年時の変容

国語Ｂと算数・数学ＡＢにおいて、小学校６年生の時から改善が図られている。



(3)児童・生徒質問紙から

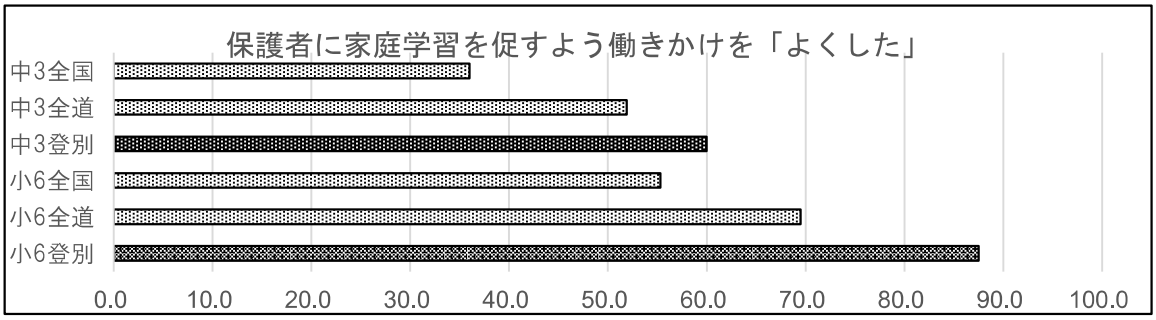
・家で、学校の授業の復習をしている児童の割合は、全国よりも高い。



・「授業で扱うノートには学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した児童の割合や「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた」と回答した生徒の割合が全国を上回っている。

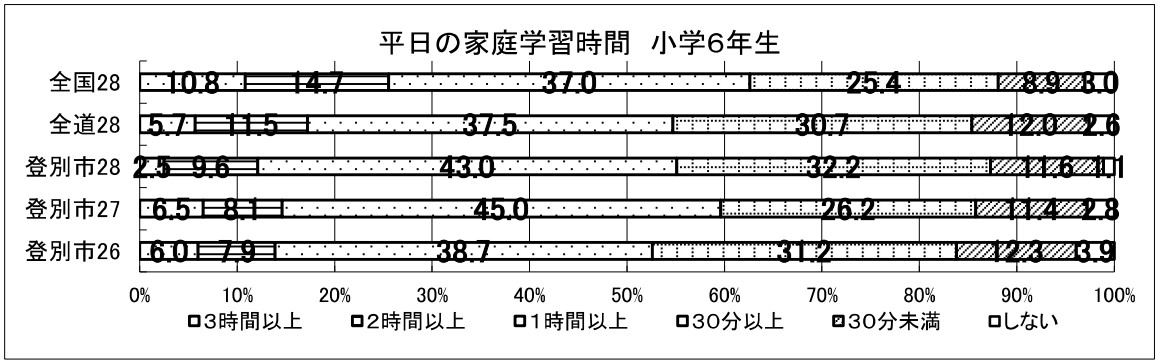
(4)学校質問紙から

・小中学校ともに「保護者に家庭学習を促すよう働きかけをよくした」で全国平均を上回っている。

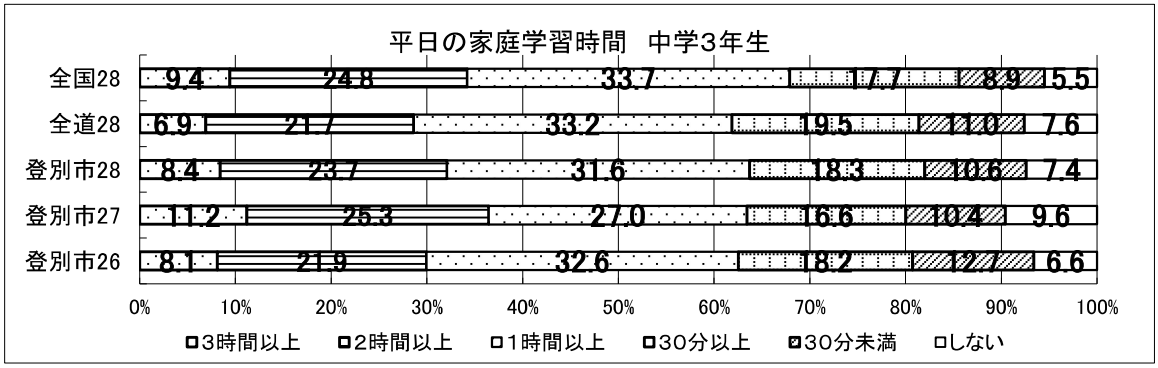


(5)「１日の家庭での学習時間」全国･全道と本市（3年間）の比較

・小学校は１時間以上学習する割合が減少。「しない」児童は３年間で一番少ない。「30分未満」が課題。



・中学校は１時間以上学習している割合が微増。「30分未満」＋「しない」が３年間で一番少ない。



○各学校の取組に対する支援

①教育課程課題検討委員会～参加者：校長・教頭・学力担当教諭

第1回～6月28日　市教委より授業改善に向け具体的な方法の提示　自校採点による学力向上対策交流

第2回～1月18日　児童生徒質問紙からの市教委によるクロス集計等分析提示　各中学校区で対策共有

②学習支援専門員の配置と学校支援

・配置　教育指導室に２名

・取組　４月　全国調査に向け「心構え」「復習問題(算数・数学)」作成と各学校への配布

全国調査に向けた放課後学習の実施（登別小・西陵中）

放課後学習教材「鬼っこチャレンジテスト」小学校用の改善と、ドリルの作成

５～３月　放課後学習　実施状況に応じヒントカード、ドリルや繰り返し問題を作成

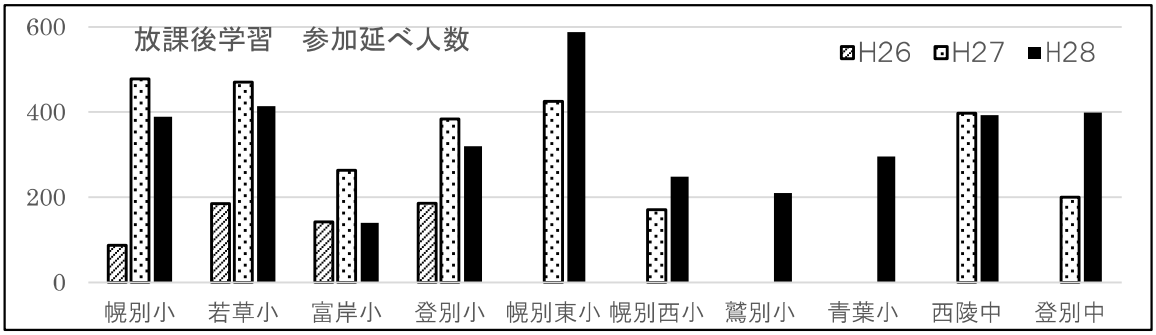
７月　夏休み学習用「鬼っこチャレンジテスト」の作成配布

２学期 全国学力・学習状況調査結果の分析と考察

１２月　冬休み学習用「鬼っこチャレンジテスト」の作成配布

３月　課題を踏まえ教材の改善

・放課後学習の推進状況　（◇「学校支援地域本部事業」の表P42にも記載あり）



学校名	登録児童生徒数	取組の状況	指導員数
登別小	5年11名 6年20名	H26.9月開設 12回実施 参加延べ人数320名	8名
富岸小	5年16名 6年23名	H26.10月開設 10回実施 参加延べ人数140名	11名
若草小	5年22名 6年11名	H26.9月開設 16回実施 参加延べ人数414名	12名
幌別小	5年26名 6年15名	H27.1月開設 12回実施 参加延べ人数389名	9名
幌東小	4年12名 5年15名 6年12名	H27.7月開設 11回実施 参加延べ人数588名	24名
幌西小	4年13名 5年11名 6年5名	H27.9月開設 14回実施 参加延べ人数284名	9名
鷲別小	5年26名 6年35名	H28.10月開設 5回実施 参加延べ人数212名	11名
青葉小	5年24名 6年9名	H28.9月開設 10回実施 参加延べ人数296名	7名
西陵中	2年7名 3年17名	H27.4月開設 36回実施 参加延べ人数393名	2名
登別中	1年～3年	H27.4月開設 40回実施 参加延べ人数399名	2名

・年度途中からではあるが、市内全小学校において実施できた。また小学校において各々の学校に応じた形式が定着しつつある。各学校の放課後学習に係る位置付けが明確になってきており、成果が上がっている。

・児童の実態把握に係る体験が指導員に積み重ねられており、児童がおかれている教育的環境について推察し対応する場面が増えている。

・学習規律等について、学校全体で定着に向けた体制整備が進んでいる学校ほど、参加児童生徒の意欲も高く、学習成果に結びついていると思われる。

・中学校でのつまずきの原因が小学校の学習内容である場合が多く、小中のつながりが一層必要。

評　　価	調査では十分な成果がみられなかったものの、教育課程課題検討委員会を中心に調査によって明らかになった課題を市内全体で共有し、中学校区での実践を交流することで、基礎学力の定着並びに学ぶ意欲の向上を図ることができた。保護者へ働きかけることで、家庭で復習する子どもの割合が高くなるという成果もみられた。 放課後学習は、小学校全校、中学校2校で取り組んだ。地域ボランティアの方も指導することに慣れてきており、状況に応じて効果的な指導がなされるようになってきている。
今後の方向性	引き続き教育課程課題検討委員会を中心に、具体的な授業改善が学校全体で進むよう促していく。また、学習支援専門員が主体となって授業以外の学習の機会の充実を継続して図り、一人一人の子どもにあった指導を展開し、児童生徒の確かな学びにつながるよう支援体制を一層強化していく。

項　　目	3　読書活動
点検内容	学力向上の一端を担う読書活動については、朝読書活動や図書ボランティアによる読み聞かせの充実とともに、「学校図書館担当者・学校図書ボランティア連絡会議」を活用した情報の交流に努め、学校図書館の活性化を図る。また、学校図書館司書の配置は、児童の図書室利用や本の貸し出し冊数が大幅に増えるなど大きな効果を上げているので、引き続き学校図書館機能の充実に努める。

取組状況

○各学校の朝読書と図書ボランティアなどの活動状況

学校名	朝読書	図書ボランティア	その他
幌別小	毎朝10分	読み聞かせ・貸出返却	図書委員の読み聞かせ
幌別西小	毎朝10分	読み聞かせ・飾付・貸出・本の整理	図書だよりの発行
幌別東小	毎朝10分	読み聞かせ・お話会・飾り付け	読書の木・目標設定
青葉小	水曜以外10分	読み聞かせ・飾付	異学年読書交流他
鷲別小	月～水20分	読み聞かせ 環境整備 新刊紹介 図書便り発行	小学生新聞を授業活用
若草小	火木10分	読み聞かせ・環境整備・新刊紹介	図書委員の読み聞かせ
登別小	火金15分	読み聞かせ・環境整備・新刊紹介	図書館だよりの発行
富岸小	火曜10分	月２回程度、朝の読み聞かせ	図書室環境整備
幌別中	毎朝10分	読み聞かせ・貸出返却	委員会補助
西陵中	毎朝10分	活動なし	学級文庫入れ替え
鷲別中	毎朝10分	読み聞かせ・図書紹介(週火木2回)	前後期に分けて本購入
登別中	毎朝10分	活動なし	委員会による運営
緑陽中	毎朝10分	週3回環境整備・読書啓発	生徒による読み聞かせ

○学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議および児童書展

1 ねらい　読書に関する指導や学校図書館整備に関する活動などについて情報交換や交流を図り、市内各校の学校図書の充実及び児童･生徒の学校図書館活用の活性化を図る。

2 日　時　平成28年6月24日（金）　14:30～17:00

3 参　加　小・中学校教諭8名　司書教諭4名　学校司書4名　学校図書ボランティ・図書館9名

4 内　容

(1)　児童書展　　図書館流通センター（TRC）による小・中学校向けの調べ学習図書・辞典・事典・学校図書館における基本図書の展示と見計らい

(2)　連絡会議　①情報提供　・図書館の小学校学級文庫への団体貸出の変更について
・調べ学習の貸出方法について　・学校担当、児童室担当職員紹介
・こどもの本のつどい登別大会について
②グループ別交流　・各校取組　・図書館の有効利用方法

○登別市学校司書連絡会議～年4回実施

1 ねらい　市内小学校に配置されている学校司書の連携を図り、互いの知識を共有することにより、さらに有効な学校図書館整備の充実を図る。

2 内　容　活動内容の交流・図書館便りなどの意見交換・本の整理に関する情報交換・英語の本の読み聞かせに関する情報交換　その他

○長期休業中の学校図書館の開放～小学校のみ　（　　）は27年度

読書活動推進の一環で実施。休業中の日時を設定し児童に対し学校司書による貸し出し業務を行う。

利用状況～夏休み125名(75名)貸出冊数180冊(149冊)　冬休み107名(114名)貸出冊数150冊(153冊)

○小学校への団体貸出

「わくわく文庫」を除籍処理し、市内小学校全８校に１学年２コンテナ委譲。３学級以上は追加。

実績：91 学級に貸し出し。（実施率 100%）　提供冊数 3,465 冊

○小・中学生の読書感想文・感想画コンクール

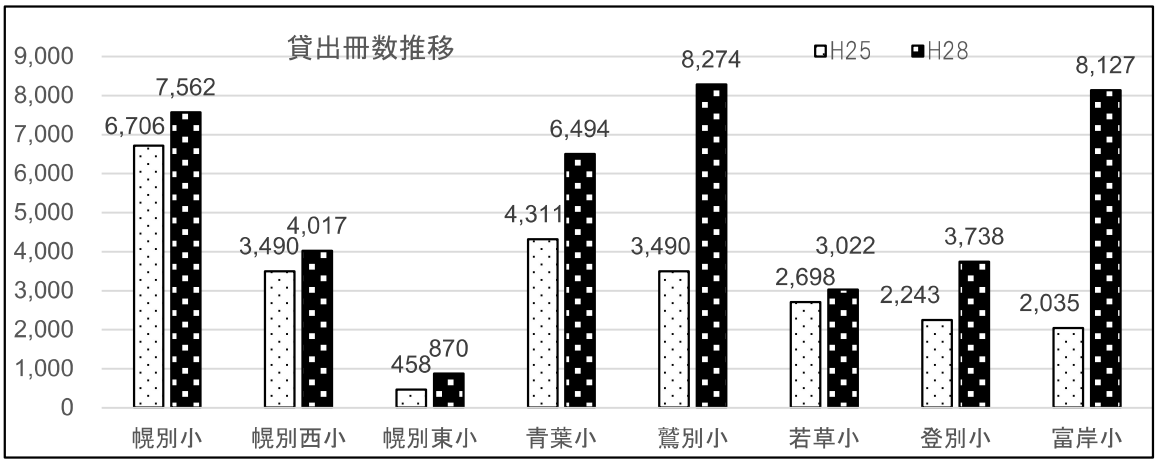
応募件数：感想文 422 作品（入選 64 作品）・感想画 64 作品（入選 10 作品）

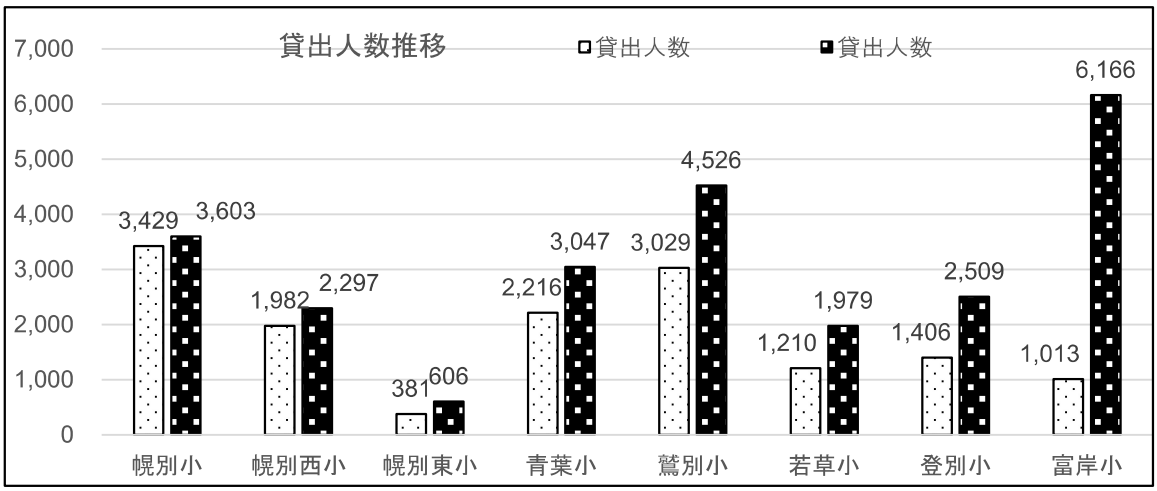
○学校図書館担当職員（学校司書）の小学校への配置

図書館司書等の有資格者を段階的に2校に1人の割合で配置した。

・H25～26年度　2人を4校に配置（幌別西小、青葉小、鷲別小、若草小）

・H27年度以降　4人を8校に配置（上記に加え、登別小、幌別東小、幌別小、富岸小）





評　　価	全小学校に学校司書を配置して2年目になり、学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議や学校司書連絡会議の内容もさらに充実が図られている。実際の運営の仕方等を交流することで、各学校の取組に反映され、どの小学校でも貸出冊数や貸出人数が伸びた。また、長期休業中の学校図書館利用の機会を設けることができた。子どもたちの本への関心を高めることができている。
今後の方向性	学校図書担当･学校図書ボランティア連絡会議や学校司書連絡会議の内容を全小中学校に還元できるよう支援するとともに、朝読書や読み聞かせ活動など日常的な活動の一層の充実を促していく。

項　　目	4　教職員の指導力の向上
点検内容	研究実践奨励校の指定や巡回指導教員活用事業などを通して指導方法の工夫･改善に取り組むとともに、ＩＣＴの活用や、能動的学習（アクティブ・ラーニング）など、望ましい指導の在り方を研究する。 学校力向上に関する総合実践事業の成果が各学校に還元されるよう支援する。

取組状況

○登別市教育実践研究奨励校

学校名	領域･教科	研　究　主　題	年度
幌西小	学習指導	一人一人の子どもが生き生きと表現しようとする学習過程の研究 ～国語科「書くこと」領域における指導を通じて～	27･28
鷲別小	学習指導	わかる・できる喜びを味わい、共に考えることが楽しい学習を目指して 通常学級サブテーマ：子どもの実態に合わせた算数の授業づくりを通して 特別支援学級サブテーマ：日常生活に役立つ算数の授業づくりを通して	27･28
若草小	道徳教育	自分で気づき、よりよく生きようとする心豊かな子どもの育成	27･28
青葉小	学習指導	進んで考え、伝え合う子どもの育成 ～算数科における問題解決的な学習の充実を通して～	27･28
鷲別中	学習指導	「主体的に学び、活用する生徒の育成」 ～自らの考えを表現し、互いに交流する活動を通して～	27･28
西陵中	学習指導	「向上心を持ち、学習に励む生徒の育成」 ～生徒の学ぶ意欲を引き出す（授業の）指導過程の工夫を通して～	27･28
幌別小	学習指導	確かな学力を育てる授業の創造～教師の授業力向上を目指して～	28･29
幌東小	学習指導	子どもたちに確かな学びを積み重ねることのできる学習指導の工夫 ～算数科の基礎基本を確実に定着させる授業の改善～	28･29
登別小	学習指導	意欲的に学ぶ子どもの育成～算数科の授業を通して～	28･29
緑陽中	道徳教育	道徳的実践力をはぐくむ生徒の育成 ～「気づく」「深める」「目覚める」授業過程を通して～	28･29

※公開研究会　10/28 幌別中　11/25 富岸小　11/28 鷲別中　11/29 西陵中　2/3 幌別小

○巡回指導教員活用事業

巡回教員：辰田教諭　　本務校　若草小学校　　兼務校　鷲別小学校・幌別西小学校

学校名	若草小		鷲別小		幌西小	
指導教科	国語・算数		国語・算数		国語・算数	
指導学年	１年	２年	２年	６年	３年	５年
年間指導時数	１９３	１９０	７５	３９	５５	５４
若手教員	河田教諭	北西教諭	千田教諭	大岡教諭	高田教諭	渡部教諭

年間の指導時数合計：606時間　若手教員数6名

・取組の内容

チャレンジテストを活用した「学力向上アクションプラン」の実施　家庭学習の手引きによる家庭学習の習慣化　１単位時間におけるタイムマネジメントの徹底　課題解決的な学習における指導方法の工夫改善　教材、教具の効果的な活用とその作成　など

・成果　①若手教員への具体的な指導の実現

学習意欲を高める発問や学習の流れがわかる板書ができるようになってきた。

②学校全体で若手教員等を指導する体制づくり

ミドルリーダーが若手教員を指導、育成する役割を担った。

③定量的な評価が可能な指標の設定

当該教員が担当する国語や算数の授業の分かりやすさに関する質問については、9割近くの児童が肯定的な答えをした。

④文科省・国研及び道教委の指導資料等の活用

全国学力・学習状況調査の分析結果を授業に生かし、基礎・基本の定着を図ることができた。

○地域連携研修事業

主体校：幌別小　連携校：幌別西小・幌別東小をはじめとする管内全小中学校125校

主体校が取り組んだ研修・研究課題

日常の授業改善と教師の授業力向上という２つの課題を、校内研修と個人研修の充実を通して解決していった。研究主題を「確かな学力を育てる授業の創造～教師の授業力向上を目指して～」とし国語、算数、道徳を窓口として、主体的、協働的な学びの確立を目指した。

視察研修　2/17　全国小学校道徳研究大会第39回研究発表大会（東京都立台東区立富士小学校）　幌別小：神野教諭・葛西教諭

3/5・6　第5回オール筑波算数スプリングフェスティバル（筑波大学付属小学校）　幌別小：大西教諭・杉田教諭

連携校への還元

6/24　登別市教育講演会（場所：登別市市民会館　参加者：市内小中学校教諭）

講演：子どもが生き生きと輝く学級づくり～学校現場における様々な課題の具体に基づいて～　講師：プール学院大学准教授　松久　眞実氏

2/3　登別市立幌別小学校学校公開　教育講演会（場所：幌別小　参加者：管内外教諭114名）

講演：「かくれたカリキュラム」の発見・改善でチーム学校を

講師：北海道教育大学教員養成改革推進本部学校臨床教授　横藤　雅人氏

11/10　全体研修を実施し、近隣校を対象に授業を公開。（国語　2年生）

11/11　研修部長が近隣校公開授業を参観。指導助言。（幌別西小）

11/26　全体研修を実施し、近隣校を対象に授業を公開。（国語　5年生）

11/28　道徳教育推進教師が市内中学校道徳授業を参観。指導助言。（鷲別中）

○学校力向上に関する総合実践事業実施報告書(概要)　実践指定校～幌別小　近隣校～幌西小･幌東小

	具体的取組内容	実施内容及び成果	到達目標の結果 （　）：昨年度
教育課程等	○学力向上プランの策定 学校・学級プランの作成 ○児童の実態、学力調査の結果分析による学力向上プランの改善の実施　4回 ○学力向上に関わる学年学級経営交流会議～学期毎実施	○各学級でプラン作成。 １学期＝全国学テやＣＲＴ分析,日常の見取り踏まえて作成 ２学期＝単元テスト等学級の実態を関連させ手立てを修正 ３学期＝総括として、年末に成果と課題をまとめ可視化した。 ○学級・学年ごとの児童の実態を基に効果的な指導の在り方を探るため、学級学年経営交流会を各学期で実施し職員間で学び合い、検証を行った。	○保護者アンケート 「授業分かりやすい」 91.0%。（84.6%） 「ＴＴ等の指導形態の工夫」96.0%。（96.6%）
	○全国学力調査の自己採点結果による分析 ↓ 学力向上プランの改善	○複数教師で即日採点、教務分析、翌朝実態と傾向を全教職員に提示。補充指導に役立てる。９月結果到着後に再分析、指導の方策再提示。学年にも分析を行わせ学力向上プランの改善につなげ指導の手立てを焦点化した。	○分析と評価は年間2回実施。再指導ポイントのもと学年で分析し改善に取り組んだ。
	○標準学力検査（教研式ＣＲＴ）等の実施と分析	○対象は２～５年。学年の実態に即し言語活動やA・Lの実現を視点とした授業づくりを継続する。	○単元テスト正答率～算数知識理解87%で定着。
	○授業力を高める校内研修の充実	○授業力向上に特化した研修活動を精力的に推進。学級担任最低年3回研究授業実施。	○校内研修　年間35回以上実施
	○子どもの実態に基づいたTT	○学級担任とＴＴ担当が日常的・効果的に打ち合わせを行	○ＴＴ指導時数

	による指導の推進 ○指導重点単元の設定とTTによる指導の推進	い、実際の指導に役立てた。 ○グループ別や習熟度別など、指導形態を工夫した授業展開することができた。	国語:557時間(588時間) 算数:620時間(599時間) 理科:450時間(448時間)
	○長期休業における補充的指導の機会の設定、個に応じた指導	○長期休業中は、夏季冬季２日間補充学習を実施した。 ○配信のチャレンジテスト、サポート問題等のほか個の実態に応じた学習内容(教科書の復習等)を取り上げた。	○チャレンジテスト正答率85%以上
	○補充的な学習指導時間の設定	○放課後学習を年12回実施し補充的な学習をさらに充実させた。学校支援地域本部コーディネーターと連携し9名の地域の先生に指導いただいた。	○5年生24名、6年生14名参加。市教委と連携して実施。
	○発達の段階に応じた「学習の約束」の作成 ○9年間を据え学習用具の統一	○学年の発達段階を踏まえ系統立てて設定した学習の基本形を基に、統一性ある指導を継続することができた。 ○9年間一貫した指導を進めることができた。	○保護者アンケート「授業分かりやすい」91.0%(84.6%)前年度比+6.4%
	○家庭での生活習慣づくりチェックシートの作成	○3年生以上で月2回実施。家庭学習の手引きとともに家庭への働きかけを継続。家庭学習強習慣も効果的だった	○活用率90%(90%) 提出率78%強（75%）
	○学習環境整備や学習規律を定着させるための教師用自己チェックシートの活用	○授業、学級経営、行事指導、環境整備などのチェックシートを作成。結果を可視化し改善方向を示し、職員全体の意識向上につなげることができた。	○活用率100% 自己評価に基づく相談の場を設定
	○特別な教育的支援を要する児童へのきめ細かな指導	○該当児童の支援の手立ての有効性を複数の目で確認しながら実施できた。 ○特別支援教育の基本理念や障害者差別解消法の理解、児童の困り感に適切に対応すべく実態把握に努めた。	○年6回の指導公開.協議 関係教員等22名参加の ミニ研修実施
	○新体力テストの実施と分析 体力向上プラン策定と実施 ○日常的な短縄跳びの実施 ○学級全員による長縄跳び ○体育での持久走等の継続	○種目数～6年2 5年8 3.4年4 1.2年1 実施。 ○過去2年間比較で5年生長座体前屈、50m走が大幅上昇。 個々の目標設定と体育コーディネーター活用が効果的 ○体育の準備運動として継続的に実施。 ○活動時間を確保したことで取組が充実した。 ○教員間の研修、適切の目標設定等で効果を上げた。	○5年男女上体起こし、長座体前屈、50ｍ走、ソフトボール投げで全国平均超える。 ○ほぼ全学級で記録向上 ○準備運動で走力向上
	○近隣の小学校間の連携	○授業参観等を通して、近隣校の児童の実態、授業づくり等について把握し、各校に還元できる環境を整えた。	○東.西小より2回6名 東.西小へ2回2名
	○中学校への円滑な接続のための教育課程の交流等	○9年間を見通した中学校区統一学習規律の運用に基づく効果を確認できた。 ○幌中教員による出前授業は円滑な接続に有効。	○規律に係る協議年3回 ○出前授業2月実施（算数数学)
	○登別市幼保小中連携協議会に参加するなど連携強化	○引継ぎや日常の情報交流実施。各校種の実態交流で相互連携や学級編成のための共通理解が進んだ。	○11・12月、幼稚園児や教員来校、1年生と交流
地域・家庭との	○学校支援地域本部事業のコーディネーターとの連携を図った体験的な活動の充実	○図書ボランティア、学習ボランティア、交通安全ボランティアなどによる支援活動のおかげで、有意義な活動につながった。	○図書8名(3名) スキー19名(14名) 放課後学習年12回実施
	○学校支援地域本部事業のコーディネーターを中心とした水田を使った活動	○田植え、稲刈り、収穫祭などの体験活動を精力的に推進できた。乗馬体験も計画通り実施し、児童にとって貴重な体験となった。	○田植え52名、稲刈り45名、収穫祭38名参加 ○乗馬体験29名参加
	○コミュニティー･スクール制度の積極的な活用	○幅広い視点から意見をいただく。より社会に開かれた学校を目指し、取り組むべき事柄の確認ができた。	○授業参観後に協議会実施。

連携	○地域と連携した土曜日の活用の在り方の見直し	○日常の教育活動を参観することで理解をいただける貴重な機会として浸透し、土曜日の有効活用に向け保護者や地域の方との共通の話題にすることができた。	○年4回、計画通りに実施した。
人材育成	○若手教員やスクールリーダー育成	○管理職による毎日の授業参観と指導 ○校長との授業研究と協議 ○若手層のみの短時間研修の実施	○毎日複数回実施 ○初任段階教員8名実施 ○メンター型システム
	○初任者研修等自校実施 ○テーマ別研修への近隣実践校教員の受け入れ	○児童理解を基盤とした学級経営力アップの取組と日常の授業実践を中心とし、指導力を高めた。 ○初任段階教員が学びたいテーマを募集しミニ研修を実施した。広く参加を呼びかけ学びを深めた。	○初任段階研修1年次192時間実施 ○20回実施。毎回近隣校から5～10名参加
	○日常授業の改善に直結する校内研究・研修の重点化	○算数科では必然性のある対話的学びの位置づけ、振り返りの充実等を目指して授業改善を図った。	○全校研授業12本実施 チーム研授業10本実施
	○通常学級在籍で支援が必要な児童への指導における研修	○学習会で特別支援教育の意義を再確認した結果、児童の見取りや関わり方に向上的な変容がみられた、	○市特振協に関わる研修会や合同学習会参加
その他	○学校の改善サイクルの実質化と迅速化 ○外部からの継続的な助言指導と教育課程･指導方法の普段の見直し	○教育課程の評価は各教科等の年間指導計画を基に実施し、意識化を継続できた。 ○5･9･11月 教育局指導班 学校経営や授業づくり助言 7･2月岩井指導監による助言。学校力事業アドバイザー松久眞実氏、佐々木貴子氏、横藤雅人氏による助言。	○改善サイクルは、前後期で年2回実施 ○計画通り実施
	○道研との連携 ○外部からの継続的指導助言 ○成果や課題の積極的発信 ○児童と向き合うための時間の確保	○メンター研修に関わり助言を受けた。 ○指導主事からの学校教育指導に基づき教育課程や指導方法等見直しを継続した。 ○初任2年次研修や日常的な視察等の全て受け入れ。HPで実践をタイムリーに発信 ○適宜開催の経営会議の調整を主任や部長が主体的に行う体制を確立。	○連携協働の機会が増加 ○局指導主事年4回のべ6名訪問 ○2月3日学校公開は総数115の参加者. ○全員参加の職員会議は年2回にとどめる

評　価	教育実践研究奨励校では、各学校の実態に即した研究主題のもと、学習指導や道徳指導の充実を図り、5校がその成果を広く公開し、研究の質を高め合うことができた。 巡回教員活用事業では、若手教員の具体的な指導力向上と同時に、学校全体で若手教員を指導する体制づくりも進めることができた。 学校力向上総合実践事業では、包括的な学校運営のあり方についての研究を進めるとともに、メンター型システム（教員の若年化に対応するためのもの。若い先生とベテランの先生がチームになり、実践を通して指導力の向上を図るやり方）を取り入れ、人材育成につなげた。幌別小学校が地域連携研修事業の主体校になり、管内全小中学校が連携校となることで、研究の成果を広く発信した。
今後の方向性	「学校力向上に関する総合実践事業」や「地域連携研修事業」等の成果が市内各学校に一層還元されるよう促すとともに、主体的に研究を進める「研究実践奨励校」の活動を支援し、具体的な子どもの姿として表出するよう努めていく。また、平成32年の新学習指導要領完全実施に向け、「主体的・対話的で深い学びの実現」がなされるよう、研修機会のさらなる充実に努める。

項　　目	5　豊かな心の育成
点検内容	読書活動や人権教育、道徳教育の充実を促し、命を大切にする や他人を思いやる心、自律心や規範意識等の醸成に努める。また、情操を育むためには、自然とのふれあいは極めて重要と考え、ふぉれすと鉱山等を利用した自然体験活動を促す。

取組状況

○自然体験や社会体験、ボランティア活動等、豊かな心を育む体験活動

（◇学校支援地域本部事業によるものや、外部指導者を招いての教室など、各項目に記載の内容と重複するものを含む）

幌別小学校	通年　全学年による学級園を中心とした栽培活動 3年生による花壇への花の移植、草取り 通年　児童会活動として、リングプル・牛乳パックのリサイクル活動 4/11 青空教室(交通指導員の協力)　4/20 安全指導集会(講師：室蘭警察署員) 5～12月　幌中地区ふれあい農園　5/28田植え 10/1稲刈り 11/26収穫祭 7/6 2年生 世代間交流　昔の遊び体験　14名の地域の方が協力 8/26　ふぉれすと出前講座(5年) 8/27 スマホ･ケータイ安全教室(5･6年)　講師：携帯電話会社担当者 9/25 乗馬体験(学校支援地域本部事業) 10/20 3年社会科見学（ドーピー建設工業見学） 11/18 4年総合　見学学習（白老アイヌ民族博物館） 11月 5年生総合(福祉の学習)　12/2しんた21(施設見学・車いす体験) 12/14 非行防止教室 5･6年　(いじめ･ＳＮＳ･万引き･飲酒･喫煙･危険薬物)　講師：室蘭警察署員 12/19 5年生総合 認知症キッズサポーター養成講座
幌別東小学校	児童会によるリングプルの回収 児童会による「いじめをなくすための取組」（各委員会１～２回実施） 学級園を中心に栽培活動　校外班による校区の清掃活動 ふれあい農園 5/28田植え 10/1稲刈り 11/26収穫祭 郷土芸能「幌別駒踊り」の継承（全校児童） 鉄南地区文化祭参加「東小マーチ」披露 3年 ドーピー建設工業やカント・レラ、地獄谷見学（温泉入浴体験に合わせて） 1･2年世代間交流「ふれあい集会」（地域お年寄りとの交流） 10月　5年生認知症サポーター授業（土曜授業） 5年総合的な学習の時間（福祉）～介護施設ツクイでお年寄りと交流、しんた21見学 4年　総合的な学習の時間（福祉）～しんた21（点字体験） 6月　マクドナルドによる防犯教室（全校児童） 6/14　札響コンサート（5・6年）
富岸小学校	5/7 命を守る学習 防犯教室 5/17 わくわく環境教室 春～秋 花壇や学年園、生活科での栽培活動 通年 玄関ホール・各教室での飼育活動 7/13,9/2,10/27 キウシト湿原学習 3年生 年2回実施 湿原観察や外来植物の駆除 11/1 クリンクルセンターとアイヌ民族博物館見学 4年生 通年 亀田公園での自然体験活動 通年 児童会によるリングプル回収、牛乳パックリサイクル

		6.7.11.12月 児童会活動によるいじめ防止のためのあったか富岸小運動 6/28 世代間交流 1年生　昔の遊び講座　地域の方23名参加 春～秋 ふれあい農園活動　2年生・特別支援学級 7/9 富岸川遊び　ボランティアレンジャー河上氏・富岸町内会協力 10/27 認知症サポーター講座　4年生 12/8 心に響く道徳講師派遣事業活用　（株）植松電機　植松　努氏講演 演題「思うは招く」～夢があれば何でもできる～　5.6年 12/12 がん講座　6年　日鋼記念病院協力 1/21　親子もちつき大会
	青葉小学校	牛乳パックやリングプルの回収・地域の方を講師に招いてのクラブ活動 5/17　キウシト湿原の会の方による出前授業　4年生 ふれあい農園 5/13 2年生種イモ植え 9/1収穫祭（「畑の先生」招いて感想発表） 11/10 キウシト湿原での自然体験学習　4年生 11/16　登別の食産業　3年生　酪農館・望月製麺・道南食品での見学と体験学習 9/1 世代間交流 1年生 昔の遊び体験後、地域の方と給食交流 8/27 芸術鑑賞会 演劇を鑑賞　劇団影法師 たたら製鉄　5年生　室蘭・登別たたらの会指導 9/15出前授業　10/4製鉄体験(火伏せの儀式や鉧出し)　2/24鉄の精錬体験 9/28.29 ニジマス釣り6年 10/25.27 5年 青葉スケートリンク実行委員会や地域の方 12/2 クラブ感謝の会　4年生以上　講師の方に代表から感謝の手紙贈呈 1/31　福祉学習　6年生（車いす体験、しんた２１利用者とのふれあい） 2/3　視覚障害者による出前授業　6年生 2/4 4年 虎杖浜水産工場でのたらこ詰め体験 アイヌ民族資料館や仙台藩白老元陣屋資料館見学 2/16　認知症サポート講座　5年生
	若草小学校	5/10～12 1年生～6年生 自動車学校で自転車乗車・トラック内輪差・車の視覚等交通安全体験実施 5/24 ふれあい農園開園 1・2年生と地域の方でジャガイモの苗を植える 年間を通して児童会美化委員会が中心となり家庭や地域に呼びかけてリングプル回収活動を実施 年間を通して牛乳パックを毎日全学級で洗浄と乾燥、整理をして回収業者に出す 7/14 世代間交流 2年生と地域の方が昔の遊びを通して交流　その後一緒に給食 10/14 茶の湯体験 6年生 表千家茶道教授 佐藤鉦淑子氏 市文化協会6名 9/12 ふれあい農園　1・2年生ジャガイモ収穫 11/16・18・22 4年生 福祉体験学習実施 車椅子乗車体験・点字読み書き体験・視覚障害者の生活体験 10/22 幼児1年生～6年生 ふれあい活動（昔遊び体験）を実施　地域教育協議会主催 10/29 ふれあい農園 ジャガイモ収穫祭 1・2年生が「畑の先生」を招待 11月上旬 町内会文化展　5会場(若草・美園・美園南・旭が丘・鷲別地区)に作品出展 11/17・22 4年生社会福祉学習（車椅子・手話等） 11/26 幼児1年生～中学生 ふれあい活動（餅つき・消防署見学）を実施　地域教育協議会主催 1/20　6年生邦楽鑑賞会
	鷲別小学校	下校時の地域のゴミ拾い(空き缶)～児童会が企画　世代間交流　牛乳パック回収 小動物の飼育や学級園の栽培活動 施設見学～アイヌ博物館　郷土資料館　室蘭青少年科学館　クリンクルセンター

		各種講座～認知症サポーター講座　出前福祉講座　水道出前授業　縄文出前講座 食育教室　携帯電話・インターネット安全教室　邦楽鑑賞会 幼保小交流（学芸会に鷲別保育所とリリー文化幼稚園招待）
	幌別西小学校	4/13　縄文出前講座 6年生対象 4/21　「交通安全教室」（全学年） 5/11　「校外班集会・集団下校」（全学年） 6/7　ふれあい清掃 児童会によるリングプルの回収 7/12　世代間交流 2年生対象 昔の遊び講座 9/2　「栄養教諭食育授業」（4年） 10/27 「アイヌ文化学習」（4年） 11/2　非行防止教室（6年）　ケータイ安全教室（5年） 11/8　「栄養教諭食育授業」（2年） 11/19 「薬物乱用防止講座」（6年） 11/17.25 12/9 「福祉の学習（総合的な学習）」（5年） 12/1 「認知症サポーターキッズ養成講座」（6年） 12/4　第12回障害者週間記念事業で5年生約50名が体験発表 12/16　邦楽鑑賞会 6年生対象 三曲協会による琴や尺八演奏指導 12/20　心に響く道徳講師派遣事業活用　元コンサドーレ札幌　曽田雄志氏 「夢や希望の実現」について講演　対象3～6年 2/19　「スキー学習」（5・6年）
	登別小学校	ベルマーク・リングプル回収（全学年）12/20ベル・リン祭り（全学年） 学級園等での栽培活動（全学年） 4/19　縄文出前講座　6年　学芸員による 5/10　交通安全青空教室(1.2.3.5年)　登別市交通安全協会 5/11　ふるさと農園でジャガイモの植え付け　2年　地域ボランティア8名参加 小動物（ウサギ）とのふれあい飼育活動　主に1.2年 7/15　認知症キッズサポーター養成講座　5年生 7/16　ＯＭＢ地域行事参加　5.6年　わくわく広場 8/21　地域青年部主催「わんぱく子どもすもう大会」　児童10名参加 8/24　観光教育として作成したルーフレットを駅前で配布、PR活動　5年 8/27　ふるさと農園収穫祭　2年　地域ボランティア8名参加 8/28　ＯＭＢ地域行事参加　5.6年　地獄まつり 9/26　登別中金管演奏会参加　5.6年 10/1　サケの採卵体験　登別さけ・ますふ化場　児童11人保護者他7人参加 10/22　どさんこ子どもサミット代表児童発表 11/19　ものづくり体験教室（モザイクアート教室）　児童24人保護者他12人参加 12/3　ＯＭＢ定期演奏会　5・6年　保護者参観 12/9　邦楽鑑賞会 6年 三曲協会による琴や尺八演奏指導 1/30　豆まき集会～いじめ撲滅や交通安全に対する標語作成 全学年 2/3　世代間交流　1年　地域10人参加 3/2　福祉体験学習　3年　登別市社会福祉協議会
	西陵中学校	7/9 校区内清掃活動 生徒会による書き損じはがきやペットボトルキャップの回収

	10/18 海星学院生を招いての震災ボランティア報告会 10/27 2年生職場体験～26事業所 10/28 1年生職場訪問～新日鉄住金や自衛隊幌別駐屯所 12/12 保健師を招いての思春期教室～妊婦疑似体験　2年生対象
登別中学校	6/7 1年 洞爺湖有珠山ジオパークでの見学学習 7/9 校下の清掃奉仕活動（町内クリーン作戦）による地域の環境美化 地獄まつりオリエンテーション　熊舞保存会による指導 8/24 ＪＲ登別駅で熊舞披露（外国人観光客向けに英語で紹介）登別小と連携 8/27 地獄まつり参加　鬼みこし運行、熊舞披露、吹奏楽演奏実施　外国人観光客に向けて英語や中国語で紹介 9/8 3年　幼児とのふれあい体験 10/27.28 2年 職場体験 校区の事業所中心に2日間実施 11/11 1年 職業調べ　セイコーマート店長成田氏による講話　校区の事業所訪問 12/9　思春期教室（性教育講座）妊婦体験 1/21　認知症キッズサポーター養成講座 3/21 お茶の間会議 地域の方と1年生がまちづくりについて意見交換
緑陽中学校	ボランティア部による富岸子育てひろばでの幼児とのふれあい活動（毎週土曜日） 生徒会によるペットボトルキャップの回収 5/11.12　修学旅行におけるファームステイ（農業体験） 6/8　生徒会中心に「いじめ０運動集会」寸劇やいじめ撲滅宣言実施 7/8　1年自然体験学習（ふぉれすと鉱山） 7/11～15　生活改善週間設定 10月　富岸子育て広場での保育体験 対象:3年生140名 11/28～12/2　生活改善週間設定
幌別中学校	4/ 6 入学式でのおもてなし活動 5/ 8 登別こいのぼりマラソン手伝い～演奏、給水、タグ受け取り 6/23 「命とクルマ～遺された親からのメッセージ」全校生徒 講師：北海道交通事故被害者の会代表　前田敏章氏 8/29 介護付有料老人ホーム セ・ジュネス祭（ボランティア部手伝い） 10/1 地域との合同避難訓練 10/26 ２年職業体験（セ・ジュネスでの入所者との交流、三愛病院での社会体験） 11/19 セ・ジュネスで吹奏楽部演奏 ボランティア部手伝い 7/17 12/12 いじめ防止ありがとう集会 生徒会主催 メッセージコンクールなど ふれあい農園 5/28田植え 10/13稲刈り 11/26収穫祭 48名参加 12/26 もちつきボランティア　セ・ジュネスに防災ボランティア局訪問 1/23 茶道体験 3年生　緑ヶ丘町内会女性部茶道サークルが協力 2年 認知症サポート講座受講 2/ 4 地域教育協議会音楽を楽しむ会（吹奏楽部出演）
鷲別中学校	通年 生徒会によるペットボトルキャップ、書き損じはがきの回収→海星学院に届けワクチン支援などに協力 4/14 3年による通学路清掃 4/17 ボランティア部による地域清掃活動　5/28　花壇の土おこし　6/4　苗植え 5/30 生徒会による生活向上集会 生活向上週間を事前設定 各委員会の取組実施

	6/23 学校祭でのバザー（販売）の収益金でダルニー奨学金として寄付 9/30 1.2年海浜清掃 10/1 海洋浴ウォーキング祭り ボランティア部参加 会場設営や野菜販売協力 10/5 「命の大切さを学ぶ教室」実施 1年 6/16 郷土資料館長による講演（登別市の歴史、鷲別・若草地区の歴史） 7/6 鷲別・若草地域探索（事業所訪問） 2年 10/1 市観光振興グループによる講演 11/8 温泉の各施設で職業体験（観光体験学習） 3年 10/5～7 3年保育実習（鷲別保育所） その他 11/3鷲別地区文化祭に美術部やギター・マンドリン部参加・学校祭作品出展 11/26中学校区もちつき大会でのギター・マンドリン部演奏

※その他、全小学校～ふぉれすと鉱山での自然体験、登別三曲協会による邦楽鑑賞会、入浴体験、能楽鑑賞、スキー授業（青葉小除く）

○「生命尊重･思いやりの心を育てる人権教室」

6/21幌東小2･4年 9/21青葉小5年 11/24幌西小2･4年 11/29富岸小4年 12/3鷲別小2年 12/8登別小4年 12/16若草小4年 2/13幌別小5年 11/22西陵中

○人権作文コンテスト 奨励賞 西陵中1名 幌別中2名 緑陽中5名受賞

評　価	各学校においては様々な体験活動を通して豊かな心を育む取組を実施している。学校独自の取組や教育委員会の取組のみならず、学校支援地域本部事業、各種団体、地域事業所などの支援もあり、充実した活動がなされた。 また、市内全小学校と3中学校で法務局や地域の人権擁護委員会が開催する事業に参加し、子どもの人権意識を高める取組を進めた。
今後の方向性	豊かな心の育成については、今後も多様な体験活動を創出していくための支援を重ねていく。道徳の教科化ついては、円滑に進めることができるよう情報を発信していく。

項　目	**6 体力向上**
点検内容	全国調査の結果、小学校では実施項目の多くが全道や全国の平均値を上回るほど、これまでの一校一実践の取組や、体育コーディネーター派遣による成果がみられているので、引き続きこれらの事業の充実に努める。

取組状況

○平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果と分析（実施時期：平成28年6～7月）

小学校 5年男子

	実施数	身長(cm)	体重(kg)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計(点)
全国	515,899	138.8	34.0	16.5	19.7	32.9	42.0	51.9	9.4	151.4	22.4	53.9
北海道	20,305	139.4	35.4	17.3	19.1	32.8	41.4	46.9	9.6	151.1	22.9	53.0
H28登別	189	138.9	34.6	16.2	20.3	40.4	41.6	50.0	9.6	154.7	21.7	54.8
H27登別	200	138.7	35.0	15.9	20.2	37.3	43.8	52.3	9.7	145.2	22.0	53.8
H26登別	237	139.4	34.6	16.5	19.6	35.0	41.5	49.0	9.6	154.3	23.8	54.0

小学校　5年女子

全国	495.028	140.1	33.9	16.1	18.6	37.2	40.1	41.3	9.6	145.3	13.9	55.5
北海道	19.654	140.8	34.8	16.9	17.6	37.0	39.3	36.1	9.8	144.6	13.9	54.0
H28登別	169	140.5	35.1	16.3	18.3	42.9	40.0	37.8	9.7	148.5	14.6	56.2
H27登別	189	141.3	36.1	16.3	18.1	41.7	39.8	38.4	10.0	142.3	13.8	54.6
H26登別	207	140.0	34.8	15.9	17.7	39.5	39.1	36.1	9.8	145.0	13.8	54.3

中学校　2年男子

	実施数	身長(cm)	体重(kg)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm	反復横とび(点	持久走(秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m	体力合計(点)
全国	491,249	159.9	48.5	28.9	27.5	43.1	51.9	391.7	86.2	8.0	194.7	20.6	42.1
北海道	20,636	161.3	50.2	29.5	26.6	41.5	49.9	407.2	80.9	8.2	193.8	20.2	40.5
H28登別	168	161.8	49.6	29.2	26.1	42.0	52.0	394.2	75.8	8.1	197.6	19.8	40.0
H27登別	190	161.1	50.6	29.1	26.8	39.6	52.0	409.4	82.6	8.2	194.9	19.0	39.6
H26登別	188	161.7	50.6	30.4	25.9	42.1	50.1	402.9	75.0	8.4	194.3	20.1	39.4

中学校　2年女子

全国	469.901	154.8	46.7	23.8	23.5	45.5	46.6	288.5	58.8	8.8	168.3	12.9	49.6
北海道	20,070	155.3	47.0	23.4	21.6	43.9	44.3	306.2	50.6	9.1	162.7	12.1	45.7
H28登別	165	155.4	47.2	22.6	19.4	45.2	44.2	303.6	44.0	9.3	156.7	11.7	42.8
H27登別	179	155.2	47.0	23.0	19.6	42.3	43.8	333.7	52.4	9.1	158.1	11.2	43.1
H26登別	166	154.4	46.8	23.4	20.1	44.2	43.4	301.3	47.2	9.3	164.2	11.9	44.1

小学校男子～体力合計は、全国水準以上。ここ３年全国水準を維持。長座体前屈、立ち幅跳びは全国平均を上回った。総合評価Ａの割合は全国と比べて高い。

小学校女子～体力合計は、調査開始以来はじめて全国水準以上となる。前屈、立ち幅跳び、ボール投げは全国平均を上回った。総合評価Ａの割合は全国と比べて高い。

中学校男子～体力合計は、全国と比較して2.1P低い。反復横跳び、立ち幅跳びは全国平均を上回った。シャトルランは全国比－4.3Pで持久力に課題がみられる。

中学校女子～体力合計は、全国平均と比べ6.2P低い。種目別で全国を上回った種目はなかった。特に上体起こし、シャトルランは全国と比べて7P程度低い。

○体力向上１校１実践内容

幌別小	長縄記録会（全学年 9～11月）学級ごとに練習　全校で記録会実施 短縄（全学年 通年）記録カードをもとに練習。7月にチャレンジタイム設定 体力テスト講習会（教職員 6月）保体部中心に体力テストの正しい実施方法確認
幌西小	長縄跳び大会（全学年 12/10）学級で休み時間に練習。連続跳躍回数を競う。 持久走記録会（全学年9/30）個人で休み時間に練習。個々の目標に応じた距離を走る。
幌東小	どさんこ元気アップチャレンジ「長縄跳びで元気アップ選手権」エントリー どさんこ元気アップチャレンジ「２０mシャトルラン」全校児童エントリー どさんこ元気アップチャレンジ「上体起こし」全校児童エントリー 全校児童「新体力テスト」の実施 校内体力づくりの実施～①タイムにチャレンジ　②ソフトボール投げ選手権 ③短縄跳び選手権　④長縄跳び選手権
青葉小	長縄跳び（全学年 6～2月）学級ごとに取り組む。9月・2月記録会実施

鷲別小	マイペースランニング（全学年10月5～7日間）グラウンドにコース設定。走った周記録 なわとび記録会（全学年11月3週間）がんばりカードを活用して意欲化を図る。
若草小	なわとび（全学年 通年）年間通して取り組む。短縄や長縄の記録会を実施
登別小	なわとび（全学年 通年）自己目標を設定　体力づくりの時間に取り組む。 前期:3分間持久跳び　後期:長縄跳び　※どさんこ元気アップチャレンジ登録 すもう（全学年 6～9月）体育の時間に実施　夏・秋場所を設定する。 マラソン（全学年 8～9月）自己目標を設定　体力づくりの時間に取り組む。 スキー（全学年 1～2月）裏山(主に1.2年使用)　スキー場(1.2年1回、他2回)
富岸小	なわとび道場（全学年　通年）毎朝のなわとび実施 短縄大会（全学年　6月） マイペースマラソン（全学年　9月） 親子ｄｅ体力測定（11月）おにスポ協力のもと親子体力テストを実施 長縄大会（全学年　12月）
幌別中	長縄跳び（全学年 5～7月）陸上記録会に合わせた体力づくり　昼休みに時間設定
西陵中	ダンス（全学年9月）学校祭でヒップホップダンスをクラス単位で発表(コンクール形式)
鷲別中	長縄跳び（全学年 6・12月）体育専門委員会で実施。3分間の回数を学年で競う。 ダンス（1・2年　2月）ヒップホップダンスを、講師を招いて実施する。
登別中	導入5分間アップ(全学年・通年)授業導入時の筋トレ、ＳＡＱ等神経トレーニング実施 体力アップイベント(全学年・3回)フリースロー、長縄大会など生徒による企画と実行
緑陽中	ダンス指導（1・2年生 3学期）インストラクターによる指導　長縄跳び（全学年）

○体育コーディネーターの活用による体育授業及び体力向上の支援(子ども健康・体力改善事業)

委託先　NPO法人「おにスポ」

市内全小学校にスポーツ指導員を週10時間以上派遣。

派遣内容　・「体育の授業」質向上支援～ストレッチ体操指導等、安全に運動に取り組む姿勢の育成支援
マット運動等専門的な動きの指導、指導時の補助
・体力向上を図る取組の支援～１校１実践の効率よい運用の支援　休み時間等の取組の充実
スポーツに慣れ親しむ態度の育成

評　　価	小学校男女においては、スポーツ指導員の派遣や1校1実践の取組により、全国調査において体力の合計が全国水準を上回った。反面、中学校女子においては種目別にみても全国を上回る種目はみられない結果となった。
今後の方向性	新体力テストの全学年での活用や1校1実践の一層の充実を通し、子どもたちの日常的、継続的な運動習慣の確立を継続して図る。小中の取組をつなげることで体力向上が系統的になされるようお互いの取組内容の理解と改善を促していく。

項　　目	**7　健康教育**
点検内容	食育の推進に努め、児童生徒の望ましい食習慣を確立するとともに、学校医や関係機関等と連携を図り、薬物乱用防止や疾病の予防など健康を考える学習機会の充実を促す。

取組状況

○望ましい食習慣の確立～栄養教諭による給食指導

・勤務校での指導状況

幌別小　１年　10/17 給食を楽しく食べよう　11/21.22 食べ物を大切にきちんと食べよう
２年　8/30　何でも食べよう元気に大きくなろう　10/18 はし使いの名人になろう
３年　12/7　すききらいをしないで食べよう
４年　6/27　朝ごはんのよさ、働きを見直そう
５年　9/28　バランスを考えた食事をしよう　12/1 見直そう生活習慣（食品添加物）
６年　7/8　朝ごはんパワーアップ大作戦　3/9　1年間の給食を振り返ろう

幌別東小　１年　6/22　給食を楽しく食べよう　２年　9/21 野菜と仲良しになろう
３年　10/28 食べ物の働きを知ろう　４年　3/8　バランスよく食べよう
５年　7/19　おやつの食べ方を工夫しよう　６年　3/10　1日の食事について考えよう
※給食指導～毎日学級訪問　食育教室の充実～年間通して児童が学べる空間の確保

・派遣先での指導状況

幌西小　9/6 4年学級活動（食育指導）　11/8 2年学級活動（楽しい食事）
若草小　7/15 3年特別活動、給食指導　10/27 5年総合的な学習の時間、給食指導
登別小　11/11 5年学級活動（栄養素の働き等）　2年学級活動（食育指導）給食指導
青葉小　11/18 2年学級指導（食育指導）　11/25 4年学級指導（食育指導）
鷲別小　5/25 3年学級活動（偏食防止指導）　6/29 4年学級活動（丈夫な身体づくり）
富岸小　6/23 2年学級活動（楽しい給食）　10/26 6年学級活動（楽しい給食）

○薬物乱用防止教室

幌別小	12/19　5・6年　危険ドラックの恐ろしさについて室蘭警察署員による講話
幌西小	11/19　6年 薬物の恐ろしさ等について、室蘭警察署員による講話
幌東小	11/2 飲酒や喫煙、薬物乱用の防止について室蘭警察署員による講話
青葉小	7/15 3年　薬物の恐ろしさと、犯罪との関係について室蘭警察署員による講話
鷲別小	6年　シンナーや麻薬の恐ろしさについて、担任による指導
若草小	関係機関資料活用による学級担任からの指導
登別小	薬物乱用防止に関する資料等を活用し学級担任が指導
富岸小	2/3 6年　室蘭警察署員による、薬の恐ろしさと絶対に使用してはいけない旨の講話
幌別中	11月　全学年　薬物の恐ろしさについて関係機関資料活用による自校教員の講話
西陵中	2/2全学年　室蘭警察署員による、薬物全般に関する講話
鷲別中	3年2学期 自校教員による薬物に関わる講話
登別中	2/6 全学年 室蘭警察署生活安全課職員による講話～薬物の種類や薬害、依存について
緑陽中	7/14　関係機関提供のビデオ教材を活用した指導を自校教員により実施 7/21　1年　喫煙防止教室実施

○疾病の予防　教科の中での取組や養護教諭による日常的な呼びかけのほか、富岸小では日鋼記念病院協力のもと6年対象にがん講座を開催した。

評　　価	栄養教諭による食育指導を中心に、児童生徒に食について考える機会の充実を図ることができた。外部講師を活用しての健康を考える機会の充実については、「薬物乱用防止」や「疾病の予防」の視点から取組を進めることができた。
今後の方向性	食育に関しては、保護者への理解も一層図りながら、継続した取組を推進していく。健康を考える機会の充実に関しては、これからも学校医や関係機関との連携を一層図るとともに、外部講師の活用を促進し、児童生徒、保護者に適切な情報を提供していく。

項　　目	8　特色ある教育活動
点検内容	当市の特性を生かしたスキー授業や温泉入浴体験、環境学習等の事業を引き続き推進する。また、英語（国際理解）教育については、登別市小中学校英語教育推進プログラムに基づき、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成に努めるとともに、国際観光都市としての環境を活用し、外国人観光客に英語で案内するなど、国際感覚を養う活動の推進を図る。

○地域の自然や特性を生かした学校での取組支援

・「スキー授業」　　青葉小学校以外の小学校７校の児童、延べ765名が参加。

アンケート（登別小を除く6校）結果

児童：「楽しかった」86%「また滑りたい」85% 楽しかった理由「スキー場で滑ることができた」44%

保護者:「楽しいと感じている」93%「授業を継続したほうがよい」72%

※青葉小学校はスケート教室を実施。地域実行委員会でリンクを造成しているのでその支援を行った。

・「温泉入浴体験」　383名参加　市内小学校全8校の3年生対象に実施。

幌別小46名～9/9登別グランドホテル（温泉街見学・カントレラ・ボランティアガイド活用）

幌別西小53名～9/20ホテルまほろば（ドーピー建設工業見学・ボランティアガイド活用）

幌別東小15名～9/27清水屋（ドーピー建設工業見学・カントレラ・ボランティアガイド活用）

青葉小51名～9/27ホテルゆもと登別（足湯体験・ボランティアガイド活用）

鷲別小51名～10/28石水亭（温泉街見学・カントレラ活用）

若草小49名～9/13万世閣（カントレラ・ボランティアガイド活用）

登別小29名～9/30パークホテル雅亭（温泉街見学・ボランティアガイド活用）

富岸小89名～9/14第一滝本館（郷土資料館・温泉街見学・ボランティアガイド活用）

・環境学習

各小中学校～ふれあい農園等で野菜などの栽培と収穫。花壇での栽培。

キウシト湿原での学習　富岸小　3年生　自然状況観察（夏と冬の違い）出前授業で生き物紹介

青葉小　4年生　現地見学（夏と冬）　夏休み前出前授業実施

○英語教育

・26年度に作成した「登別市小中学校英語教育推進プログラム」に則り、小学校ではコミュニケーション能力の素地を養うことを、中学校ではコミュニケーション能力の基礎を養うことをねらいにおき、9年間を見通した学習を進めるよう支援した。

ＡＬＴの派遣（4名配置）～数多くネイティブな英語に触れる機会の創出→各学校に週1回以上派遣

小学校の外国語活動(5・6年)、中学校の英語の授業で補助指導をした。

小学校1～4年では、生活科や総合的な学習の時間等で年10時間程度国際理解教育を行った。

小学校への年間派遣回数～358回（2名分）　中学校への年間派遣回数～353回（2名分）

・地域の特性を生かした取組

登別地区（登別小～外国人観光客に自作の観光案内を配布　登別中～熊舞を英語で紹介し披露）

○その他　租税教育

・租税教室～税務署職員や振興局職員、税理士、市職員による出前授業

小学校全8校で実施　内容～税金の種類、暮らしと税との関連　など

・税に関する標語（対象：小6児童）　市内全小学校より296点応募　室蘭税務署長賞など16名入選

・税についての作文（対象：中学生）　西陵中より2編応募　登別市長賞受賞

・税に関する絵はがきコンクール（対象：小6児童）　市内小学校12点受賞

評　　価	地域の自然や特性を生かした学校での取組を継続して支援することができた。 英語教育については、小学校1年生から中学校3年生まで、ALTの派遣を通してコミュニケーション能力の育成を進めることができた。 その他、租税教育など、学校の実態に即して進めることができた。
今後の方向性	地域の自然や特性を生かした取組を継続して支援し、登別のよさを体感できる機会の充実に努める。英語教育については小学校での英語の教科化に向けての動きを的確にとらえながら、国際感覚を養う活動の推進を図る。

項　　目	**9　校種間の連携**
点検内容	幼保・小・中連携協議会を中心に、子ども同士の交流や、教職員が教育内容や指導方法について相互理解を深められるような連携に努める。また、中一ギャップや学力向上に対応するために、系統的、継続的な学習指導や生活指導を通して小中一貫した教育の推進に取り組む。

取組状況

○平成２８年度の幼稚園・保育所と小・中学校の連携事業

・日常の情報交流について

事　　案	発 信 元	内　　容
流行性疾病による学級閉鎖	学教G	・学校名・学年・罹患率・欠席者数
気象警報等による緊急対応	学教G･学校	・暴風雨雪警報・注意報発令時：市、学校区の対応
不審者情報・凶悪事件	社教G･学校	・警察・胆振教育局からの情報：市、学校区の対応
行事案内	学　校	・年間行事予定・学芸会･運動会･卒入学式案内
学校だより	学　校	・月１回作成　１部配布
教育ふれあいウィーク案内	学教G	・事業一覧(掲示用)　10/23～11/5
教育委員会広報	学教G	・教育行政全般の活動報告

・指導者・子どもの交流について

幼保･小･中連携協議会	幼保小中	8/5 登別市幼保・小・中連携協議会 ○出席：幼稚園代表･保育所代表･校長会代表･教育委員会 ○内容：28年度の取組と今後の事業の推進について
	幼保小	3/27.28「幼･保･小」実務担当者会議(合同引き継ぎ会) 出席者：白菊幼稚園4名　リリー文化幼稚園2名　コロポックルの森2名　室蘭にある幼保園9園16名　市内保育所8名　市内小学校26名 ･日常から子どもを指導している職員が、就学前の実態やアレルギー等配慮が必要な事柄、就学後予想される課題について、情報や意見の交換を行った。

１日体験入学	小学校	2月　新1年生と1年生の交流を物づくりや生活科の授業体験などを通して実施
	登別中	11月　小6年生対象で体験授業と授業見学、吹奏楽鑑賞
	幌別中	11月　小6年生対象で授業見学
	西陵中	2月　小6年生対象で授業参観とオリエンテーション実施
	緑陽中	10月　小6年生対象で授業参観
		2/14.15　青葉小・富岸小で小6年生対象に出前授業実施
	鷲別中	10/27 新入生体験入学　授業参観と学校の概要説明
交流活動	西陵中校区	11/7～11　小中合同挨拶運動(朝、本校生徒会と幌西児童会)
	鷲別中校区	11/26 幼児児童生徒交流(餅つき体験やマンドリン演奏鑑賞)
	幌別中	幌東小・幌別小での吹奏楽部の演奏　児童との交流
	鷲別小	10/15 鷲別保育所とリリー文化幼稚園児、学芸会観覧
	幌西小	9/23 登別明日生徒による国際理解に関する交流
	幌東小	運動会練習時、幌東保育所の幼児と登別地獄囃子を舞踊
	登別中	9/26 登別小での吹奏楽部の演奏
幼小中合同避難訓練	登別地区	9/27 地震津波を想定した合同避難訓練(シェイクアウト込)
小中合同避難訓練	幌別中地区	9/26 幌東小･幌別中合同で津波対策避難訓練実施 中学生が小学生を見守りながら、一緒に避難所に向かう
	西陵中校区	8/27 幌西小と合同で訓練。市防災担当職員から講話受ける
家庭科～保育体験	鷲別中	12/5.6.7 3年生　鷲別保育所で保育体験
	登別中	9/8 3年 コロポックルの森 美術で製作の絵本披露
	緑陽中	2学期 2年生 富岸子育て広場で幼児との関わり方を学ぶ
総合的な学習の時間	登別中	10/27.28 2年職業体験　コロポックルの森
	幌別中	10/22　職業体験　2年生　市内小学校3校と白菊幼稚園、幌別東保育所にて実施。直接幼児や児童と交流
	西陵中	10/27　職業体験　2年生　市内幼稚園・保育所で体験
幼稚園・保育所視察	幌別小	教員が白菊幼稚園発表会を視察
	幌西小	小2交流時に教員が富士保育所を視察
	登別小	コロポックルの森　入学式等4回管理職出席
	鷲別小	保育所参観時に視察
	登別中	保育や職業体験の時に合わせてコロポックルの森を視察
	鷲別中	保育体験の時に合わせて鷲別保育所を視察
	緑陽中	保育体験の時に合わせて富岸子育て広場を視察
	幌別中	職業体験に合わせて白菊幼稚園、幌別東保育所を視察
	西陵中	職業体験に合わせて市内幼稚園や保育所を視察

○小中一貫した教育の推進

・市小中一貫教育（連携型）基本方針案の提示（基本方針は次年度提示する予定）

・モデル校区として西陵中学校区と登別中学校区を指定

・西陵中学校区の取組と成果

①日常的な指導を焦点化し共通理解を図るために、授業参観の交流と全体交流会を実施。→具体的な指導の在り方を話し合い、考え合う機会となる。

②子どもの習慣形成に向けた一体的な取組として家庭学習強調週間の設置や家庭で子どもたちに習慣化させたい項目の家庭への啓発を実施。→家庭と共に小中一貫した取組を進めることができた。

・登別中学校区の取組と成果

①小中一貫教育推進協議会で議論の末に小中で目指す子ども像を設定→小中で共通意識のもとに教育活動を展開することができた。

②総合的な学習の時間の活動を連携して実施→小学生が中学校の活動を理解し、中1ギャップの緩和につながった。

評　　価	幼保小中連携については、日常的なつながりや3月の新入学児童合同引き継ぎなどの取組は定着してきているが、職員間の交流や双方の指導内容の十分な理解までには至っていない。 小中一貫した教育の推進については、基本方針案のもとにモデル校区での取組を推進するとともに、その成果を他の小中学校に啓発することができた。
今後の方向性	幼保小中連携については、教職員同士の相互理解を深めることが重要と考え、お互いの取組内容を理解できるような環境の充実に努める。 小中一貫した教育については、モデル校区の取組を検証し他校区でも展開できるような体制づくりを進める。

項　　目	**10　安全対策**
点検内容	防災に関しては、児童生徒が災害時に適切な行動をとることができる指導の徹底と、火災や地震・津波等に対応した避難訓練の充実を促す。通学路の安全に関しては、登別市通学路交通安全推進プログラムに基づき、通学路の危険箇所の合同点検や道路管理者による改善など、適切な対応に努める。学校施設については鷲別小学校建替工事や青葉小学校耐震化改修工事を継続するとともに、登別中学校の耐震改修実施設計に取り組む。食におけるアレルギー対応や、学校での教育活動における事故対応については、北海道教育委員会から発出される通知や手引き等に基づいた対応がなされるよう指導する。また情報教育や消費者教育の推進を奨励し、適切に対処できる知識の習得と犯罪やトラブルの未然防止に努める。

取組状況

○防災　避難訓練実施状況

学校名	取　組　内　容
幌別小学校	避難訓練(地震・火災)　5/10 教室から避難　9/28 休み時間の避難 簡易避難訓練(通年)　地震・火災等を想定した初期動作の確認 集団下校訓練　学期１回　校外班ごとによる下校訓練 9/12 津波発生時の避難訓練実施 幌別中まで一斉避難
鷲別小学校	6/22 安全指導集会 地震対策避難訓練(7/6予告あり 7/19予告なし)　7/19高台避難の講話 火災想定避難訓練(9/14予告あり　10/30予告なし)
若草小学校	9/24 若草町内会と合同津波避難訓練 全児童290名町内会60名参加 避難ルート確認
富岸小学校	4/18 地震・火災時の避難経路確認　6/22 中休み避難訓練 9/24 地域連携避難訓練(津波避難) 亀田公園まで避難 富岸町内会による避難誘導協力
青葉小学校	5/12 火災対策避難訓練 8/22 保護者引き渡し訓練 9/13 地震・津波想定避難訓練
幌別西小学校	8/27 小中合同避難訓練　大地震を想定し西小グラウンドから望洋公園までの１㎞を中1と小2、小1と小6が手をつないで避難した。

幌別東小学校	4月　火災避難訓練　7月　不審者対応避難訓練（室蘭警察署、地域の方の協力） 10月 鉄南連合町内会・幌別中と連携した地区避難訓練を実施　幌別中まで避難 10月 地震・津波を想定した避難訓練　幌中まで避難 2月 津波を想定した避難訓練　工学院女子寮ドミトリーまで避難
登別小学校	5/17 火災避難訓練　9/27 幼保小中合同地震津波避難訓練（高台まで避難） 11/15 地震・火災避難訓練
緑陽中学校	5/6　火災避難訓練 10/3　地震避難訓練･津波対処法講話　避難訓練実施･自分の身は自分で守る指導強化
西陵中学校	8/27　地震・津波を想定した避難訓練を幌別西小と合同で実施。大地震と大津波を想定した避難行動（シェイクアウト）。小中合同での高台避難と事後指導を実施した。 10/14　火災を想定した避難訓練。担架の扱い方、作り方を説明し演習を行った。
登別中学校	5/2 火災を想定した避難訓練 9/27 地震津波を想定した高台避難訓練（幼保・小と合同）
幌別中学校	9/26 幌東小と合同で地域による大津波避難訓練を実施　幌別中が避難場所 3/18 校内で地震による火災発生を想定した避難訓練
鷲別中学校	6/6 避難訓練(地震･津波)　室蘭総合自動車学校裏の高台まで避難 10/3 避難訓練(地震･火災)

○通学路の安全

・危険箇所を現地調査するなど改善に向けた取組

通学路合同点検～H27年度の点検箇所7件～協議会の中で再度状況を確認。

新規箇所0件（学校への照会により新たな危険箇所が確認されなかった）

8/29 通学路安全推進協議会（参加者：北海道開発局室蘭開発建設部・胆振総合振興局室蘭建設管理部・室蘭警察等地域交通課・登別市役所都市整備部土木グループ・市民生活部・登別市教育委員会学校教育グループ）による状況の確認。

・交通安全に関わる学校での取組

小学校～入学前学校説明会で通学路地図を保護者に手渡し。実際に保護者と歩くことを推奨。新学期に合わせて交通安全教室実施。入学後、教職員による登下校指導や自転車等の実地指導実施。

中学校～新学期に合わせて交通安全教室実施。自転車通学認めている学校ではパンフレット等作成し指導を重ね、安全意識啓発。

○学校施設

・青葉小学校耐震化改修工事～理科室等の内部間仕切り壁の耐震補強　15ヶ所

・鷲別小学校建替工事～H28.12月完成





	校　　舎	体　育　館
構　　造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
階　　数	４階建て	２階建て
床 面 積	5,361.53㎡	1,118.09㎡
建築面積	1,865.39㎡	1,193.04㎡
屋上までの高さ	約15.65ｍ（海抜約21ｍ）	約11.85ｍ（海抜約17ｍ）

○食におけるアレルギー対応

①情報の共有

・学校や関係機関（医療関係や消防機関等）と、給食センターのアレルギー対応や各学校におけるアレルギーを有する児童生徒の状況、緊急時の対応、その他研修内容等を交流し連携を図った。

・学校や保護者から連絡等があった場合は、一層きめ細やかな対応等に努めた。

②実際の対応～学校から提出される「給食申込書」により対応。

牛乳アレルギー：小学校24名→豆乳に変更13名　麦茶に変更11名

中学校（明日中等含む）14名→豆乳に変更5名　麦茶に変更9名

③給食センターからの情報発信

各学校に対し食物アレルギーの児童・生徒用（学校等配布）　予定献立表（小中学校・児童生徒へ配布）予定献立（主な材料名：小中学校へ配布）、使用品目のアレルゲン表示一覧表（小中学校へ配布）

ランチメール（小中学校へ配布）

○学校での教育活動における事故対応

・局通知の徹底を校長会や教頭会を通して随時行う。特に柔道の授業においては2学期初めに再度確認。

・一般的に起こっている事故の概要を常に学校に情報提供し、類似した事故が起こらないよう呼びかけを強化した。

○情報教育　インターネット安全教室実施状況

幌別小学校	8/27　5･6年対象　スマートフォンや携帯電話の利用方法・マナーについて学ぶ 保護者向けにも実施　講師：携帯会社契約社員
幌別西小学校	11/2　携帯やスマホ、ネットゲームの安全な利用法や調べ活動等効果的な活用法について、対象5･6年に室蘭警察署職員に講話してもらった。
鷲別小学校	10/29 5,6年対象 ネットに動画等を流す危険性について 講師：KDDI認定講師
登別小学校	情報モラルについて学級活動などの時間に、発達段階に合わせて学級指導を実施。総合的な学習の時間にインターネットの使い方について学習　3年
富岸小学校	10月第1週　3つのルール強調ウィーク
幌別東小学校	6月 4年生以上対象　スマートフォンやケータイの安全な使い方や、著作権等の指導について　講師：ＮＴＴドコモ職員
若草小学校	12/1 5・6年対象 携帯スマホの安全使用やマナー、インターネットの危険性について（時間を分けて保護者にも講話）講師：NPO法人子どもメディア認定インストラクター
青葉小学校	5/14 4年生以上対象 携帯やスマホのマナーやトラブルについて 講師：KDDI職員
幌別中学校	全学年対象　正しい使用の具体例を示した講話
鷲別中学校	1学期 全学年対象 本校教員によるLINEトラブルやスマホ等マナー啓発
登別中学校	8/9 携帯スマホ安全教室（講師：LINE社員）
西陵中学校	12/14 全学年対象 ＳＮＳで注意することやフィルタリングの重要性を確認。 講師：NTTドコモ職員
緑陽中学校	全校生徒対象に年2回、外部講師を活用して携帯やスマホの適切な使用方法や危険事案に関する理解を促す

・インターネット使用に関わる保護者への啓発
小学校４年生以上の児童生徒に、携帯電話やスマートフォン等インターネット機器に関する調査を年2回実施。その結果に基づき、登別市ＰＴＡ連合会や登別市校長会と協議をし保護者への呼びかけを強化した。
・ネットパトロール
道教委委託から情報提供に基づき、その状況に応じて全体あるいは当事者に指導し、保護者に協力を求めた。平成28年度の情報提供の数は18件。対応し解決した数は18件。
○消費者教育
北海道消費者協会から講師を招いての「消費者教育」授業の実施
12/16　西陵中2年　授業内容：ＳＮＳやインターネットの危険性、正しい知識の再確認

評　　価	児童生徒が災害時に適切な行動をとることができる指導に関しては、各学校の地域の実情に応じた避難訓練等を促し、自らの命を守る意識の向上を図る取組を進めた。地域や小中合同で行う機会も増えている。通学路の安全に関しては、これまでの取組で安全性が高まっているが、さらに校長会等を通して随時促し、状況に応じた適切な指導がなされる体制づくりに努めた。学校施設については、計画通りに進めることができた。食におけるアレルギー対応、学校での教育活動における事故対応については指導を重ね、通知や手引き等に基づいた対応がなされた。情報教育や消費者教育の推進については、できるだけ外部指導者による指導がなされるよう促した。
今後の方向性	それぞれの安全対策において、変化する状況に応じた対応がなされるよう指導を重ねていく。学校施設に関しては登別中学校校舎の耐震改修工事に取り組む。 情報教育に関しては、児童生徒が置かれている状況を的確に把握し、保護者が学校と連携してより良い使用の在り方を子どもたちが身に付けることができる環境づくりに努める。

項　　目	**11　不登校･いじめ対応**
点検内容	生徒指導担当者会議や登別市不登校・いじめ等対策会議において、情報交流や研修内容の充実に努めるとともに、登別市及び各学校が策定している「いじめ防止基本方針」に基づいて適切に対応する。

取組状況

○いじめの起きない環境づくりや不登校に対する体制づくり
・第1回登別市不登校･いじめ等対策会議
日時：平成28年5月18日（水）14：30
参加：校長会代表･教頭会代表･各小中学校担当･教育委員会
内容：27年度本市不登校･いじめ認知数･教育相談状況･28年4月状況報告
28年各種事業確認･情報交流･小中別交流会
・第2回登別市不登校・いじめ等対策会議
日時：平成29年2月15日(水)15：00
内容：28年度の状況の共有と活動内容確認、29年度の各種事業確認
情報交流～不登校・いじめ等への各学校の取組の成果と課題　中学校区別交流会
・第1回ふれあいサポート懇談会
日時：平成28年7月1日(金)14：30
参加：校長会代表・教頭会代表・不登校児童生徒を抱える学校の教職員・不登校児童生徒が皆無の中学校

区は校区内から教職員1名・教育委員会関係者

内容：28年5月末不登校児童生徒状況　第1回学校訪問報告　不登校、不登校傾向及び長欠児童生徒に関する情報交流　鷲別岳登山について連絡

・第2回ふれあいサポート懇談会

日時：平成28年10月14日(金)14：30

内容：28年9月末不登校児童生徒状況　第2回学校訪問報告　不登校、不登校傾向及び長欠児童生徒に関する情報交流

講話「集団になじめない児童生徒への個別的な対応等について」

講師　のぞみ園臨床心理士　有澤　恵美氏

・第1回教職員研修会（講演）

日時：平成28年6月24日(火)14：45　参加：市内小中学校教職員　教育委員会関係者 参加人数174名

講演「子どもが生き生きと輝く学級づくり」

講師　プール学院大学教育学部教育学科准教授　松久　眞美氏

・第2回教職員研修会（演習）

日時：平成28年11月22日(水)15:00　参加人数92名

講演：「心を開く教育相談的対応」

講師：太陽の園発達医療センター発達医療課長　河内　哲也氏

・体験教室「陶芸教室」（健千窯）水曜午前　学校の申し出で協議し随時実施　28年度は8名通級

・適応指導教室「スタディ広場」火曜～木曜　学校の申し出で協議し随時実施　28年度は7名通級

・自然体験　8月9日(火)　鷲別岳登山　3名参加

・教育指導専門員による相談(電話・来室)7件　学校訪問　年2回（6月中旬・9月中旬）

・不登校等支援関係者情報交流懇談会（2月）～ＳＣ・ＳＳＷ・心の教室相談員

・保護者懇談会～希望により随時開催(定例懇談会は毎月第2火曜日)

・いじめ関係　アンケート調査(年2回)　取組状況調査(年2回)　対応状況調査(年3回)

○不登校出現件数・いじめ認知件数の推移　（単位：件数）

不登校出現件数の推移
（病欠以外の欠席累計30日以上）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28
小	6	7	8	5	4	1
中	30	26	25	23	22	18
計	36	33	33	28	26	19

いじめ認知件数の推移

	H23	H24	H25	H26	H27	H28
小	27	19	26	9	22	14
中	5	50	22	11	3	7
計	32	69	48	20	25	21

○ＳＣ・ＳＳＷ・心の教室相談員の支援

・ＳＣの相談内容

相談者	不登校	いじめ	暴　力	友人関係	教師との関係	親子関係	心身健康	発達障害	学業進路	合　計
児童生徒	50	0	0	17	0	1	3	4	5	80
保護者	37	1	0	1	0	3	4	9	0	55
教職員	50	0	0	1	0	0	2	2	8	63
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・ＳＳＷ（スクールソーシャルワーカー）～２名配置　活動状況　全学校を訪問

活動時間	10:30～16:15
対　　象	支援児童生徒　保育所4人　小学校10人　中学校11人　その他2人
問 題 別	家庭環境18件 不登校5件　児童虐待3件 発達障害4件
訪問回数	学校40件　関係機関2件

・心の教室相談員：鷲別中88日・幌別中85日・緑陽中104日・西陵中79日　相談89件（前年度69件）

○登別市重大事案対策委員会規則の制定

「いじめ防止対策推進法」の規定に基づき、「登別市重大事案対策委員会及び登別市いじめ調査委員会条例」を制定することに伴い、登別市重大事案対策委員会の運営に関し必要の事項を定めるために、規則を制定した。

評　　価	各種会議等や教育指導専門員の取組を通して情報の共有を図るとともに教員の指導力の向上を図ることができた。不登校対応では、体験教室等の取組が特に効果を上げた。いじめへの対応については、登別市及び各学校が策定している「いじめ防止基本方針」に基づいて適切に対応できた。また重大事案発生時に円滑な対応ができるよう体制づくりを進めた。
今後の方向性	不登校やいじめに関しては、各学校が今後も迅速に実態をとらえ組織的に対応できるよう支援を重ねていく。特にいじめに対しては些細なことからいじめにつながる場合もあることから、きめ細かい対応がなされるよう校長会等を通して指導を重ねる。また重大事案発生時には対策委員会が円滑に運用できるための整備を行う。

項　　目	**12　特別支援教育**
点検内容	一人ひとりの教育的ニーズに応じた「個別の教育支援計画」に基づき登別市特別支援教育振興協議会と連携し幼少期から一貫した支援が図られるよう努める。

取組状況

○市内小中学校の特別支援学級の状況　　（　）：昨年度

	小　学　校	中　学　校
知的障害学級	8学級 17名 (7学級 13名)	5学級 12名 (4学級 7名)
自閉・情緒学級	10学級 38名 (9学級 33名)	5学級 19名 (4学級 20名)
肢体不自由学級	3学級 3名 (3学級 4名)	1学級 1名 (2学級 2名)

担当教員	42名(38名)
介助員	4名(6名)
学習支援補助員	16名(15名)

○登別市教育支援委員会の取組

①就学前からの教育相談や就学指導

	担　当	内　　容
巡回教育相談（道特セン）	学教G	8/24~8/26　相談者：保育所3名・幼稚園6名・小学校5人
教育支援委員会 9月～12月	学教G	○適正就学に向けた取組 ・委員の幼稚園・保育所訪問観察・検査、担当者との懇談 ・諮問：11/16　答申：12/15（全委員出席） ・総合検査：11/18　検討審査：11/30～12/6
教育支援委員の学校訪問	学教G・対象校	9～11月実施
1日体験入学	全小学校	2月各学校で実施
新入学児童合同引き継ぎ	幼・保・小	○3/27.28 幼保・小実務担当者会議（就学時引き継ぎ）

②その後の一貫した支援

・各種研修会

登別市特別支援教育振興協議会第１回研修会　8/4 幌別西小学校　15名参加

講師：胆振教育局教育支援課義務教育指導班指導主事　坪川寛司氏　内容：WiscⅣ 活用と実技

登別市特別支援教育振興協議会第２回研修会　1/13　幌別西小学校　32名参加
講師：北海道室蘭養護学校教諭　丸山直美氏　内容：通常学級に所属する支援の必要な子への手立て
・特別支援学級作品展・・・・・・・・10月15日（土）～10月21日（金）
内容　：作品を通した交流により間接的に思いを感じたり伝えようとしたりする態度を育成し、コミュニケーション能力の向上を図る。
主催者：登別市特別支援教育振興協議会
・特別支援教育懇談会　11/1
内容：登別市内の障がい者団体と教育委員会が市内小中学校の特別支援教育在り方を意見交換。
本市の特別支援教育の現状と課題や、学校や家庭、地域、関係団体協力や連携の在り方について
参加：登別市手をつなぐ育成会：4名　　登別市ことばを育てる親の会：2名

評　　価	教育相談や就学指導を的確に実施し、一人一人のニーズに応じた教育の充実を図った。学校や関係機関、保護者とのきめ細やかな連携を進め、就学後の状況把握にも努め、必要に応じて学校にも情報提供を行った。
今後の方向性	今後も幼少期から一貫した支援が図られるよう努めるとともに、特別支援教育推進専門員を中心に、学校や関係機関、保護者とのきめ細やかな連携を進め、市特別支援教育振興協議会と連携し、一人一人の教育的ニーズに応じた支援の実現に努める。

項　　目	**13　社会教育**
点検内容	今年度からスタートする「第5次社会教育中期計画」に基づき、各種事業や施策を展開する。また、市民意識の醸成とふるさとに対する愛着や誇りを高めることを目的に、郷土資料館や市立図書館、登別市文化・スポーツ振興財団等のネットワーク化を図り、登別の自然や暮らし、歴史や文化、産業などを学ぶ「ふるさと学（登別地域学）」を構築していく。

取組状況

○「第5次社会教育中期計画」に基づいた主な各種施策

・人づくり①青少年世代～これからのまちづくりを担う青少年の健全な育成と地域教育力の向上

学校支援本部事業	各中学校区	コーディネーターを配置し体験活動を実施　◇P42～参照
少年の主張大会	鷲別中6/7	中学生による意見発表大会　市内6校12名出場
放課後子ども教室	鷲小・東小	放課後に子どもが安心して活動できる居場所づくり ひなわしメート＝162名登録　はまなすメート＝51名登録
成人祭	市民会館	市と実行委員による企画、運営　出席者361/564人　H29.1.8
通学合宿	ふぉれすと鉱山	小学5.6年生対象に共同生活を通し生活習慣の向上を図る

（◇放課後子ども教室や通学合宿の詳細はP40からを参照）

・人づくり②成人世代～学習意欲の向上の推奨と地域活動の担い手の発掘・育成
人づくり③高齢者世代～学習機会の充実と地域の模範となる高齢者の活動による地域教育力の向上

登別ときめき大学	91名登録	市教委の基礎コースと各団体の講座を連携コースとした生涯学習 基礎コース9講座～受講者384名　他、連携コース117講座実施
市民マイプラン講座		サークル等が企画した講座や学習会を支援する 利用団体＝10団体（文化・工芸団体）

胆振女性リーダー養成研修	1名派遣	女性リーダーの資質向上と地域づくりのための団体活動の活性化が目的　8/25～28　国立女性教育会館（埼玉県）
年越しは手打ちそばで教室	17人	ボランティアグループＳＬＧを講師として伝統的食文化であるそばの打ち方を体験し学ぶ。11/26

（◇「家庭教育」→P41からを参照　「文化活動」「健康づくり・スポーツ」→P47からを参照）

・「学習環境の整備」

生涯学習人材バンク～日本工学院での活用を奨励

登録者数　78名（平成27年度　76名）　79団体（平成27年度　80団体）

新規登録数 2名～着付け・日常マナー、カラオケ

○「ふるさと学」の構築

・目的：ふるさと登別を体系的に学ぶ機会を提供することにより、市民意識の醸成とふるさとに対する愛着や誇りを高めていく。

・事業内容：ふるさと学という枠組み（歴史、自然などの分類、その体系図等）を行政及び市民団体が市内で実施している講演会等の事業に対して当てはめ、該当する事業をふるさと学として捉えなおし、市民に対しふるさと登別を学ぶことのできる講座の情報をわかりやすく伝える。

・事業の進め方　①ワークショップの開催　②体系づくり　③対象の抽出　④事業の開始

・ワークショップの開催　　平成29年3月27日（月）

テーマ：「ふるさととは？」

メンバー：各種団体、ふるさと登別の歴史・文化の関わる方

（関連事業　P46～47・P50に◇で表記）

評　　価	人づくりという観点から各世代に応じた事業を展開し、「知の循環型社会」の構築と生涯学習社会の実現に向けて取り組んだ。「ふるさと学」については、ワークショップを開催するなどの取組をスタートさせ、構築に向けての基盤づくりに努めた。
今後の方向性	これからも、新たな学習機会の創出や多様な地域活動が展開していく体制を構築していくとともに、市民一人一人が生きがいを持って自分らしさを求めていくことができるよう、各種施策の展開に努める。

項　　目	**14　家庭教育**
点検内容	家庭や地域の教育力の向上を図るため、引き続き家庭教育学級における講演会などの学習活動や、「通学合宿」「放課後子ども教室」「家族の時間づくりプロジェクト」の取組を進めていく。また、昨年度「学校支援地域本部事業」が文部科学大臣表彰を受けたことは、子どもたちに豊かな学びの場を提供してきた活動が高く評価されたものなので、活動のさらなる充実が図られるよう実行委員会と連携を深めていく。

取組状況

○家庭教育学級で取り組まれている実技講習会や講演会、作品展の支援　　参加者1,070名

ﾘﾘｰ文化幼稚園	8/26　ヤマハコンサート 11/7　手芸教室ブリザーブフラワー 2/27　ハンド・フェイスエステ研修会
登別ｶﾄﾘｯｸ聖心幼稚園	7/11　ミニバレー　　8/24　ヨガ 9/16　緑風園訪問（園児の発表・高齢者との交流） 10/28 スポンジテニス 12/19 アロマのクラフトとプチレッスン 2/10　そば打ち体験
白雪幼稚園	6/30　お神輿担ぎ・縁日体験　10/28 ハローウィンパーティー 12/8　おもちつき
白菊幼稚園	6/20　ガーデニング　7/6　アウトドア 9/13　ヨガ　11/30 フラワーアレンジメント　　2/9　パン教室
登別小学校	7/11　ぬか漬け体験　9/23　クラフト体験
幌別東小学校	6/25　陶芸教室 9/26　音楽鑑賞会　（演奏：幌別中学校吹奏楽部） 2/18　そば打ち体験教室
幌別小学校	5/18　雑巾づくり・給食試食会　7/11　バス研修（苫小牧市各施設） 10/4　バドミントン　11/2　デコバージュ作成 12/12 料理教室
幌別西小学校	7/15　Tボール　ユニホック 9/7　キャンドル作り 11/15 クリスマスメニューの料理作り
青葉小学校	7/5　アロマテラピー教室 9/27　工場見学（北海道キッコーマン株式会社）　11/9　あて布づくり、給食試食会
富岸小学校	7/7　アクセサリーづくり 11/2　しめ縄づくり 2/15　イロとココロのワークショップ
若草小学校	9/27　工場見学（岩塚製菓千歳工場）　2/10　ミニバレー交流会
鷲別小学校	10/13　給食試食会　11/11　スポンジテニス 2/22　講演会・給食試食会
市教委主催	7/19　親子で見直す生活習慣～早寝早起き・ゲームとスマホ～ 講師：北海道胆振教育局　松岡　賢晃氏 10/18　大人に知ってもらいたい絵本の話　講師：絵本に学ぶ会　瀧内　智子氏

・家庭教育活動展　11/7～11/10　登別市民会館　5学級

○「通学合宿」　みんなで学ぶ「子ども村」　場所：ネイチャーセンター「ふぉれすと鉱山」

目的～基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせるとともに、協調性や責任感を育む。

対象～小学5.6年生対象　2地区に分け、4泊5日、年4回実施。（平日は施設から登校）計132名参加。

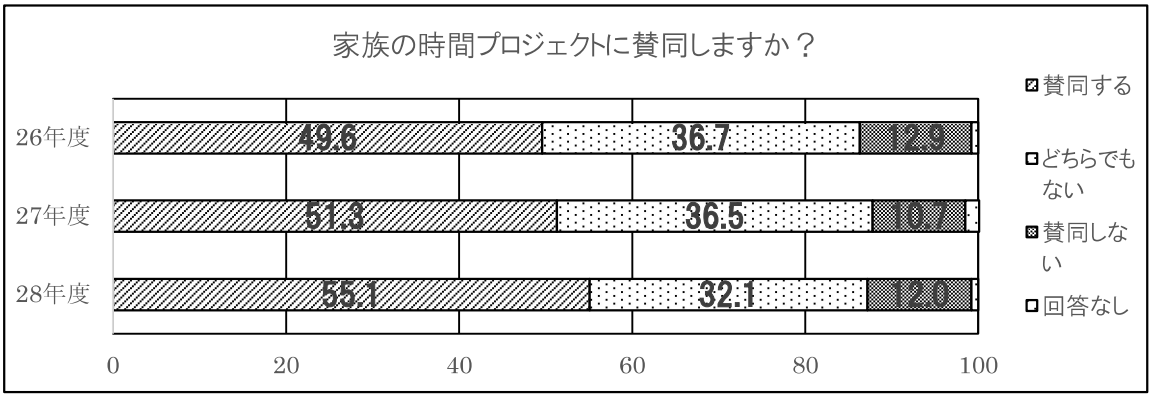
運営～地域ボランティアの協力や北海道の学校サポーター派遣事業を活用して実施。

幌別小・幌別西小・幌別東小・登別小グループ　1回目5/10～14　42名参加　2回目10/25～29　26名参加

青葉小・富岸小・若草小・鷲別小グループ　1回目5/17～21　36名参加　2回目　9/27～10/1　28名参加

○「放課後子ども教室」～放課後に子どもたちが安全・安心にて過ごすことができる活動拠点づくり
活動日時～平日2日間、4～9月午後5時まで　10～3月午後4時まで
運営～コーディネーターや教育活動サポーターなど地域の方々による実行委員会が主体。
鷲別地区放課後子ども教室「ひなわしメート」　合計95日間実施　計162名
幌別東小学校区放課後子ども教室「はまなすメート」　合計88日間実施　計51名

○「家族の時間づくりプロジェクト」
子ども(学校)と大人(企業)の休みのマッチングを行い暦にない独自の３連休以上の休みを創出。
プレ実施　平成28年11月13日(日)～20日(日)　児童生徒による協賛団体利用割合10.4%
内閣府が定める「家族の週間」「家族の日」にあわせ実施。登別温泉日帰り入浴に特典。
本実施日　平成29年1月27日(金)～29日(日)　児童生徒による協賛団体利用割合27.3%
平日の金曜日と土日を組み合わせて３連休を創出。市内私立幼稚園も連休設定。
協賛：(株)登別マリンパークニクス (株)登別伊達時代村 登別温泉ケーブル(株) 登別市文化・スポーツ振興財団 ＮＰＯ法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ おもちゃの博物館「古趣 北乃博物館 登別温泉旅館組合 市社会教育グループ 市観光振興グループ
後援：北海道曹達(株)幌別事業所 室蘭商工会議所 連合北海道室蘭地区連合会 連合北海道登別地区連合会 登別観光協会 登別商工会議所 登別市連合町内会 登別市私立幼稚園協会
共催：北海道運輸局室蘭運輸支局 登別市校長会 登別市　　主催：登別市教育委員会



※アンケート回答人数：H26 2440人　H27 1334人　H28 844人

○「学校支援地域本部事業」　参加者数　計6,012名（大人・児童・生徒とも）
・鷲別中学校区
鷲別小学校

実施時期	事業内容
4月上旬～中旬	新1年生の付添登下校
5月～3月	鷲別子ども見守り隊による登下校の見守り
5月～7月	土おこしや草取り、苗植え、片付け
7/7	世代間交流（昔の遊び・給食で交流）
2/9	5.6年スキー授業の指導、補助
7月下旬 3回	夏季学習サポート（国語・算数）
12月下旬 2回	冬季学習サポート（国語・算数）
10月～3月 5回	放課後子ども学習塾（算数）
11/26	ふれあい活動（餅つきと消防署見学）
2月・3月	ひな人形飾り

若草小学校

実施時期	事業内容
5月 9月 10月	ふれあい農園（いも植付け・芋ほり・収穫祭）
7/14	世代間交流（昔の遊び・給食で交流）
10/22	ふれあい活動（昔遊び体験、縁日を楽しむ）
2/9	5.6年スキー授業の指導、補助
12月下旬 2回	冬季学習サポート（国語・算数）
6月～2月 16回	放課後子ども学習塾（算数）5・6年
2/2	食育講師紹介・打ち合わせ

鷲別中学校

実施時期	事業内容
4月中旬　3回	夜間パトロール（新学期下校生徒のため）
9月中旬　3回	夜間パトロール（学校祭前下校生徒のため）

・緑陽中学校区

富岸小学校

実施時期	事業内容
6/1	ジャガイモの植え付け
6/28	世代間交流（昔の遊び・給食で交流）
7/7	枝豆の移植作業の指導
7/9	富岸川　川遊び（川魚や水生昆虫の観察）
7/25.26	5.6年学習サポート（国語・算数）
9/14	ジャガイモの収穫
12/27.28	5.6年学習サポート（国語・算数）
2/7.16	5.6年スキー授業の指導、補助
4月～3月 10回	放課後子ども学習塾　5・6年

青葉小学校他

実施時期	事業内容
4月から10回	青葉小クラブ（手芸クラブ講師）
7/3	川遊び準備（川周辺の草刈り）
7/9	富岸川　川遊び（川魚や水生昆虫の観察）
9/2	世代間交流（昔の遊び・給食で交流）
10/1	茶道教室（青嶺高茶道部による指導）
1/21	餅つき会（PTA、おやじの会、地域による）
2/25	スポーツチャンバラの体験会
9月から10回	放課後サポート

・幌別中学校区（幌別小・幌別東小・幌別中）

実施時期	事業内容
5月	ふれあい農園　米作り準備
5/28	ふれあい農園　田植え
6月～9月	ふれあい農園　管理
10/1	ふれあい農園　稲刈り・脱穀
10月	ふれあい農園　収穫祭準備（精米）

11/26	ふれあい農園　収穫祭（幌別東小）
7/6	世代間交流（昔の遊び・給食で交流）
9/25	ふれあい広場　乗馬・餌やり体験
2/15	5.6年スキー授業の指導、補助
5～2月	放課後学習塾（幌別小）
5～3月	放課後学習塾（幌別東小）
週3回	図書ボランティア（図書の整理修理等）

・西陵中学校区（幌別西小・西陵中）

実施時期	事業内容
6～2月　14回	放課後学習サポート　幌西小4～6年
7/12	世代間交流（昔の遊び・給食で交流）
11/12	親子ふれあいスポーツ大会
2/24	5.6年スキー授業の指導、補助

・登別中学校区（登別小・登別中）

実施時期	事業内容
4～7月	ふるさと農園準備・花壇整備
6/29	ふるさと農園収穫祭
10/1	サケの採卵体験
11/19	モザイクアート教室（写真立て等作成）
1～2月　5回	スキー授業の指導、補助
2/3	世代間交流（昔の遊び・給食で交流）

評　価	望ましい生活習慣の定着や放課後の居場所づくり、家庭での時間の創出などを通して、家庭や地域の教育力の向上を図ることができた。学校支援地域本部事業においては、実行委員会と連携をして子どもたちに豊かな学びの場を提供することができた。
今後の方向性	家庭や地域の教育力の向上を図るため引き続き支援するとともに、地域社会の中で子どもたちをのびのびと健やかに育てる環境づくりに努め、家庭の教育力の向上を図っていく。学校支援地域本部に関しては、「学校と地域がパートナーとしてともに子どもを育てともに地域をつくる」という考えを踏まえこれまでの活動を充実させながら「地域学校協働本部」へ発展するよう取り組んでいく。

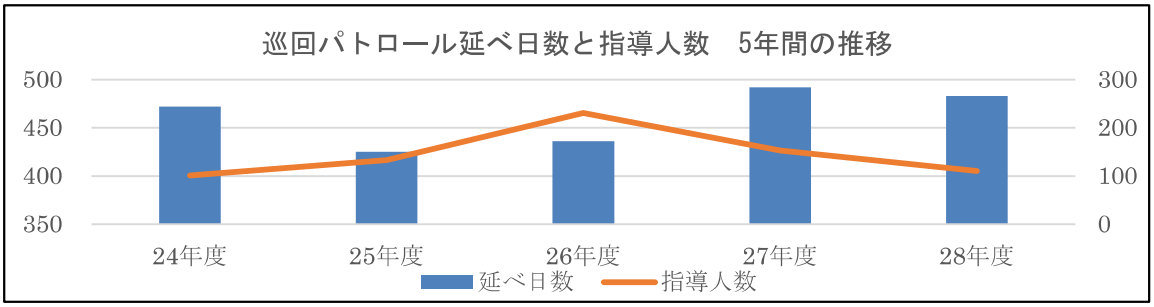
項　　目	**15　青少年の健全育成**
点検内容	青少年センターを中心に、登別市子ども会育成連絡協議会や社会教育関係団体、地域の方々のご協力をいただき、街頭指導の強化、不審者情報に対応するメール配信体制の充実や、子どもたちを見守るパトロール活動の実施、子ども１１０番の家の拡充などに努め、非行の未然防止と良好な環境の確保に取り組む。

取組状況

○登下校の見守り活動や街頭指導、巡回指導

・市内巡回パトロール（通常・特別）実施状況

	通常巡回		特別巡回	合　計
	鷲別･緑陽 中校区	登･幌･西･明 中校区	(列車添乗･祭典その他)	
延べ日数	203日	214日	66日	483日
延べ巡回数	364回	379回	163回	906回
延べ人員	573人	566人	328人	1,467人
指導人数	60人	44人	6人	110人



※指導の内訳　(単位：件数)

	自転車等			危険な行為			その他(ゲームコーナー含む			合　計		
	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
13歳未満	68	25	19	89	93	66	13	7	1	170	125	86
13歳	5	4	0	1	7	1	0	0	0	6	11	1
14歳	23	1	3	4	7	12	0	0	0	27	8	15
15歳	4	0	4	4	0	0	0	0	0	8	0	4
16歳	4	2	1	0	0	0	0	0	0	4	2	1
17歳	9	3	0	0	0	0	0	0	0	9	3	0
18歳	4	4	2	3	0	0	0	0	0	7	4	2
19歳	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	117	39	30	101	107	79	13	7	1	231	153	110

「自転車等」指導内容と推移(前年度比) 無灯火9件(－7件) 並進運転9件(－2件) 車道の逆走10件(+4件) 他

「危険な行為」指導内容と推移(前年度比) 道路遊び31件(－8件)　スケートボード9件(－16件)　キックスケーター14件(－2件)　遊泳禁止区域水遊び11件(－1件)　他

・万引き状況　(調査を依頼し報告を受けたもの)　(単位：件数)

	小学生	中学生	高校生	小中高以外	合計
25年度	5	2	0	16	23
26年度	2	3	0	20	25
27年度	12	2	0	9	23
28年度	10	0	0	6	16

※市内大型店４店舗、市内コンビニ20店舗、その他25店舗、計49店舗の協力による。

・不審者・変質者出没状況　(単位：件数)

	温泉地区	登別地区	幌別地区	鷲別地区	その他	合計
25年度	0	1	9	12	1	23
26年度	0	1	13	8	0	22
27年度	0	3	15	11	0	29
28年度	0	0	14	16	0	30

○子ども110番の家　　地域住民・商店の協力による子どもの駆け込み場所　462件設置
内訳：鷲中校区116件 緑中校区112件 幌中校区126件 西中校区50件 登中校区58件

○情報の共有

・登別市青少年指導委員連絡会～学校教員と一般の指導員による交流、状況や指導の重点を確認。

・登別市小学校・中学校合同生徒指導担当者連絡会議～小学校・中学校他代表教諭による現状や課題などについての情報交流、協議、問題行動の早期発見や未然防止を図る。

・不審者出没状況調書、巡回パトロール活動及び街頭指導等状況調書による情報発信。

・メール配信システム～室蘭市や伊達市など、西胆振６市町の定住自立圏連携事業が進める、保護者向けのもの。学校から保護者に災害･不審者情報などをいち早く確実に伝える。参加校～小学校7校

評　　価	街頭指導や巡回指導での指導人数は減少傾向にある。各関係機関や学校での指導によるものと考えられる。その中でも指導の内容は自転車の乗り方や道路での遊び方については継続して指導を行う必要性がある。各種連絡協議会において情報を共有し不審者対策に努めたが、不審者出現件数は増加傾向にある。
今後の方向性	引き続き、巡回指導や関係機関・団体との連携、不審者への対応などに取り組み、良好な環境の確保と非行防止に努める。特に不審者対応については、正確な情報の共有と状況に応じた適切な対応を行う。

項　　目	**16　文化・スポーツの振興**
点検内容	西いぶり定住自立圏文化事業を主管し「文楽」を鑑賞する機会を設ける。また当市には地域に残る郷土芸能や各種行事がありますので、児童生徒の積極的な活動を奨励し、伝統文化の継承と郷土を愛する心の育成に努める。また東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、子どもたちの夢を育むとともに、競技スポーツの振興を目的に、オリンピアン（大会出場者）を招き、講演会や実技指導等の機会を設ける。

取組状況

○西いぶり定住自立圏文化事業「文楽公演」

公演名：文楽公演（人形浄瑠璃）　出演者：公益財団法人　文楽協会

10/16　昼の部287人　文楽入門143人　夜の部192人

○伝統文化の継承と郷土を愛する心の育成

・平成28年度文化芸術による子どもの育成事業「能楽公演」

ワークショップ　8/22　富岸小6年　児童68人　教員7人　計75人

本公演　8/26　市内小6　児童379人　教員27人　保護者・一般99人　計505人

・学校での郷土芸能の伝承

鷲別小学校～鷲別獅子舞　祭典や地域行事での披露

幌別東小学校～駒踊り　学校行事や市民演芸会で披露

登別中学校～熊舞　地域行事や地獄まつり、外国人観光客歓迎時に披露

○郷土の歴史や文化に関する各種講座開催の奨励　（◇は、P40「ふるさと学」と関連）

◇縄文出前講座　4月　市内小学校4校で実施（6年生　9クラス　190名参加）

◇アイヌ文化講座　3月18日　一般財団法人アイヌ民族博物館 村木美幸氏より「博物館での文化伝承の取組と歩み」について、またアイヌ文化伝承者 上武やす子氏より「文化伝承の取組と想い」について講演い

ただき、多くの市民にアイヌ文化を正しく理解してもらう機会を提供した。参加者23名。

◇古文書教室　2/12　仙台藩白老陣屋資料館学芸員 平野敦史氏による「蝦夷地に造られた仙台藩の砦」について講演。参加者28名。

2/25・3/5　古文書解読の実践2回。各日22名参加。

3/12　　実際の古文書を観察。特徴をつかむ活動。19名　参加。

◇歴史交流事業　1/26～28　学芸員2名を派遣し、白石市・角田市にある関係資料の所在調査、歴史講演会の開催、資料の借用を行った。講演会73名参加。

11/26　　白石区ふるさと会設立40周年・白石郷土館開設記念式典参加

◇郷土資料館特別展　7/23～9/25「登別に鉄道がはしった」　見学者581名

9/16　カルチャーナイト　見学者16名

3/9～4/16「はじめまして！－平成28年度新資料－」　見学者283名

◇郷土資料館企画展　「五月武者人形展」4～5月　「さくら写真展」5～6月　「おひな様人形展」2～3月

・郷土資料館事業　5/21 わんぱくサムライ体験　200名

・文化伝承館事業　通年　SLGによるべこもちづくり、布ぞうりづくりなど15回　228名参加

◇各種講演、調査参加

4/30　「ゴミ穴から見える近代アイヌの物に対する認識変化」（北海道考古学会研究大会）

7/5　「くぼみの他界観～アイヌ文化期の送り儀礼の意味」（登別市郷土文化研究会）

7/7　「縄文時代の落とし穴猟」（北海道、北の縄文道民会議主催縄文夏まつりセミナー）

11月　「登別の縄文文化」寄稿（北海道文化財保護協会広報誌「文化情報」11月号）

12/1　「古文書が語る仙台藩士片倉家主従の北海道移住」（胆振管内地理歴史・公民科教育研究会）

12/3　「鷲別の歴史」（登別市子ども育成連絡協議会研修会）

1/28　「北海道とアイヌ文化」「片倉家主従の北海道移住」（歴史交流講演会、宮城県白石市）

2/11　「土地に残された他界の記憶」（白老・アイヌ民族博物館）

2/20　「資料が語る登別の歴史」（登別政経懇話会定例会）

3/3　「鷲別の昔の様子」（鷲別2丁目町内会主催　第6回あいあいサロン）

○市民へ文化活動の発表の場を提供

・市民会館サークル展　10/25～28 市民会館を中心に活動しているサークルの活動紹介と作品展示

12団体出展

○東京オリンピック・パラリンピック開催に向けてのスポーツの振興

元オリンピック選手などによる講演会や実技指導等

講師：元オリンピック選手、世界陸上メダリスト　千葉真子氏

5/7　スポーツ講演会「命を輝かす人間」　5/8　登別こいのぼりマラソンでのゲストランナー

○健康づくり、スポーツ振興

市民ラジオ体操会	7/30　214名	スポーツ推進委員の協力により、富岸小・幌別西小で実施
西胆振6市町小学生スポーツ交流会	5/28　501名	西胆振3市3町の小学生を対象としたスポーツ大会（陸上競技）　会場：入江運動公園
市民スポーツ･健康フェスティバル	10/2　577名	市内体育施設を会場とした市民スポーツ大会 岡志別の森運動公園：パークゴルフ･ソフトボール･駅伝大会・長縄跳びチャレンジ・ノルディックウォーキング体験・ふれあいサッカーに308名参加 市民プール：親子ベビー水泳教室・泳げない子ども集まれ水泳教室・水中玉入れ競技・水中障害物競争・水中宝探し・個人水泳タイム計測・ひめトレ教室・健康測定会に269名参加

学校体育施設開放事業	通年	10施設(小8校、登中、旧温泉中体育館)を開放 延べ開放日数1,197日　延べ利用団体1,568団体　延べ利用人数23,195名

評　　価	文化庁の事業や西いぶり定住自立圏文化事業を活用して、「能楽」や「文楽」などの伝統芸能に触れる機会を創出できた。郷土芸能や各種行事に関しては積極的な活動を奨励した。 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて千葉真子氏に講演してもらうとともにこいのぼりマラソン運営に参加していただき、一流選手を身近に感じる機会を設けることができた。
今後の方向性	今後も、市文化・スポーツ財団や登別市文化協会、登別市体育協会などと連携をして、市民の文化活動への参加や芸術の鑑賞機会の提供、各種スポーツ教室やスポーツ大会の開催に取り組む。また、東京オリンピック・パラリンピック開催に向け子どもたちの夢を育むとともに競技スポーツの振興を目的に、大会出場者を招き講演会や実技講習会等の機会を設けていく。

項　　目	**17　学校給食**
点検内容	健康の保持増進と体位の向上を目的に、安全で安心な給食を提供するとともに地場産品を取り入れ、地域の自然や産業などに対する理解を深めていく。

取組状況

○地元の食材を積極的に取り入れた献立づくり（使用回数78回　使用率37.86％）

毎日提供している「のぼりべつ牛乳」や富浦産だし昆布や鮭のダイスカット等、地場産品の積極的な活用。年１回開催する学校給食展での地場産品を活用した給食メニューの提供。地場産品の使用内容を献立表やランチメール等に記載し各学校や保護者に配布したほか、野菜等についても、入札規格等において近隣市町村産品または道産品を指定し広域な地産地消の取組も実施。

○発達期にある児童生徒に豊かでおいしい給食の提供

文部科学省の学校給食摂取基準等に基づき、学校栄養教諭が献立を作成するなど、児童・生徒の栄養価やエネルギーなどバランスの摂れた給食を提供。児童生徒の体力不足を補い丈夫な体をつくるため、学校教育Ｇと連携して各小学校に栄養教諭を派遣し、食育授業を年12回実施。

○「和食」を伝えるための給食の実施

月	和食の献立名
4月	豆腐とわかめの味噌汁
5月	フキの味噌汁
6月	山菜の味噌汁
7・8月	スタミナ味噌汁
9月	けんちん汁

月	和食の献立名
10月	石狩汁
11月	根菜汁
12・1月	ひっつみ
2月	せんべい汁
3月	塩ちゃんこ

○第7回登別市学校給食展

目　的　　学校給食の意義・役割等について、市民の理解と関心を高め、学校給食のより一層の充実、発展を図ることを目的とする。

期間･場所　平成28年10月19日（水）　登別市民会館大会議室

内　容　　①試食会　　・地場産品を活用した学校給食メニューを提供

②食育相談所　　・栄養教諭による食育相談

③食品業者紹介コーナー・安全・安心な食品を届けてくれる給食物資納品業者による各種展示

④給食展スタンプラリー　　⑤手洗い教室　　⑥その他

提供内容　地場産品の「登別豚」、西胆振の野菜を使用した「登別豚丼」	
評　　価	給食の献立に地元の食材を積極的に活用するとともに周知を図ることで、児童生徒や保護者等の食への関心を高める取組ができた。また、出来るだけ近隣や道産品を活用し広域な地産地消の取組もできた。栄養価やエネルギーなどバランスの摂れた給食の提供に努めたほか、各小学校に栄養教諭を派遣し、「栄養のバランスや生活のリズムの大切さ」などを理解してもらうための食育授業を実施したことで、児童生徒の健康維持・増進、体位の向上を図ることができた。
今後の方向性	引き続き健康の保持と体位の向上を目的に、安全で安心な給食を提供するとともに、地場産品を取り入れ、食育授業などを通して児童生徒の食への関心を高めるとともに、地域の自然や産業に対する理解を深めていく。

項　　目	**18　図書館**
点検内容	質の高い魅力ある図書館づくりを目指して、市民ニーズに応じた図書資料の整備と、幅広い情報の提供や発信に努めるとともに図書ボランティアとの連携によるブックスタート・ライブラリースタート事業や図書館講座などを通して、利用者の増加を図る。

取組状況

○平成28年度　図書館での貸出冊数218,954冊　移動図書館車での貸出冊数21,241冊　購入冊数6,002冊

○図書ボランティアとの連携・協働。

おはなし会（11回）、わらべうたと手遊び（10回）、本の書評合戦「ビブリオバトルの夕べ」（5回）、「第12回図書館まつり」（11/26）、「学校図書担当者･学校図書ボランティア連絡協議会」（6/24）

○市民との協働事業

文化の日講演会「カメラマンの仕事」講師：山本敏氏（11/3）、文化講演会「登別のたからもの」講師：街道重昭氏（11/5）、地域文化講座「たたら製鐵講座」講師：室蘭・登別たたらの会（2/4）「国連世界食糧デー特別展」（5/21～6/5）。協力事業「第39回北海道子どもの本のつどい登別大会」（7/30・31）。

○ブックスタート・ライブラリースタート事業や図書館講座などを通して、利用者の増加を図る。

・ブックスタート（４か月児を対象に、絵本３冊とアドバイス集などを配布。実施数326人）。

・ライブラリースタート（３歳児と保護者を対象に図書館で本１冊を選び送付。実施88人）。

・図書館講座（資料の探し方やデータベースの使用法、暮らしに役立つ図書館の活用術について、登別ときめき大学と連携した講座を実施）「図書館長による資料検索入門－本を探す―」（7/16）、「初めてのデータベース―データベースを使って調べものをする」（10/15）

○質の高い魅力ある図書館づくりを目指して、市民ニーズに応じた図書資料の整備と、きめ細かな情報発信に努める。

・利用者が本を探しやすいよう整備（書架案内板の掲示や分類表示札を設置）。

・きめ細かい書籍情報の提供（登別ゆかりの人の「郷土人著作コーナー」を開設。新聞書評の資料添付やホームページに新着情報やおすすめ本リストを掲載）。図書館の除籍資料の有効活用（市民活動センター「のぼりん」にもリサイクルコーナーを設置）。

○主なイベント等の事業　（◇は、P40「ふるさと学」と関連）

5/14　「日本一ののぼりべつさかなをつくろう！」講師：加藤休ミ氏（絵本作家）

5/21～6/5　「国連世界食糧デー」展

6/5～7/31　「第 39 回北海道子どもの本のつどい登別大会記念　小風さち展」

6/24	「学校図書担当者･学校図書ボランティア連絡会議・児童書展」
6/25	講談社全国訪問おはなし隊来訪
6/26	「学校図書担当者･学校図書ボランティア連絡会議・児童書展」
7/16	「図書館長による資料検索入門－本を探す―」講師：図書館長
7/25	「夏休み工作」
9/1～16	「年長児の読書感想画展」対象：市内幼保年長児　応募 265 作品
9/16	「登別カルチャーナイト-中国古典文化を楽しもう」
10/15	「初めてのデータベース-データベースを使って調べものをする-」講師：図書館長
11/2～20	◇「追悼　横山むつみさんを偲んで　知里幸恵・真志保・アイヌ関連資料展」
11/3	◇ 文化の日講演会「カメラマンの仕事」主催：山本敏氏（登別映像機材博物館館主）
11/5	◇文化講演会「登別のたからもの-幌別町のアイヌ語地名のことなど」講師：街道重昭氏
11/26	「第 12 図書館まつり」（主催：図書館まつり実行委員会）
12/10	「クリスマス工作」
12/17	小･中学生の読書感想文･読書感想画コンクール入賞者表彰式 読書感想文応募：小学校 291 名･中学校 131 名　入選：小学校 43 名･中学校 21 名 読書感想画応募：小学校　64 名 入選：小学校 10 名
2/4	地域文化講座『たたら製鉄講座』　講師：石崎勝男氏（室蘭・登別たたらの会）
3/11	文学講演会「なぜ北海道はミステリー作家の宝庫なのか」講師：鷲田小彌太氏
3/4～31	雑誌と本のリサイクル市

○新規事業（◇は、P40「ふるさと学」と関連）

・「すくすくあかちゃんルーム（授乳室）設置事業」（所管：子育てグループ）

・「ブックスタート」（４か月健診時実施。平成 28 年度より図書館に業務移管）

・「リサイクルブックコーナー設置」（登別市市民活動センター２階）

◇「郷土人著作コーナー」設置。（知里幸恵・真志保など登別ゆかりの人の著作展示コーナーを開設）

・市立小中学校使用教科書の所蔵。

評　価	質の高い魅力ある図書館づくりについては、施設の狭隘による資料の飽和の解消のため資料の除籍を進めるとともに、除籍資料の有効活用のため市民活動センター2階にリサイクルコーナーを開設した。また書架に案内表示や分類表示を設置し分かり易く改善した。市民ニーズに応じた図書資料の整備と幅広い情報の提供や発信についてはオンラインデータベースの利用講座を実施し、利用の促進と周知に努めたほか、大型絵本や大活字本の収集と更新を行った。図書ボランティアや市民との連携・協働については、従来からのおはなし会やわらべうた・図書館まつりなどに加え、「第39回北海道子どもの本のつどい登別大会」に協力した。市民の利用の促進については、図書館の利用講座を実施した。また３歳児を対象としたライブラリースタート事業により図書館の周知を図った。
今後の方向性	質の高い魅力ある図書館づくりを目指して、引き続き資料の飽和状態の解消と書架整備に努めるとともに、ブックスタート・ライブラリースタートにより乳幼児からの読書啓発と図書館利用の促進を図る。「本と人を繋ぐ」ため、資料の紹介や幅広い情報提供に努めると同時に、市民の多様なニーズに応じた多様な資料の整備に努める。 また、登別市関連の郷土資料の収集整理に努め一層の充実を図る。

３ 重点施策の評定結果

	項　　目	点　検　内　容	評定
1	地域とともにある学校づくり	知・徳・体の調和のとれた子どもたちの育成を目指し、学校や家庭、地域、行政が連携した「地域とともにある学校づくり」を推進している。今後とも各学校の運営協議会の活動が円滑に進むよう支援をする。また、土曜日における豊かな教育環境を子どもたちに提供するため、幌別中学校を実践校、他の学校を協力校として、引き続き土曜授業を実施していく。	A
2	確かな学力の向上	校長会と共同で設置している教育課程課題検討委員会で協議をしながら、指導の改善に努める。また、学力の二極化などの課題に対応するため、学校が取り組む補充学習に加え、学習支援室や地域の方々による「放課後学習教室」の充実を図り、児童生徒の基礎学力の定着や学ぶ意欲の向上に努める。	B
3	読書活動の推進	学力向上の一端を担う読書活動については、朝読書活動や図書ボランティアによる読み聞かせの充実とともに、「学校図書館担当者・学校図書ボランティア連絡会議」を活用した情報の交流に努め、学校図書館の活性化を図る。また、学校図書館司書の配置は、児童の図書室利用や本の貸し出し冊数が大幅に増えるなど大きな効果を上げているので、引き続き学校図書館機能の充実に努める。	A
4	教職員の指導力の向上	研究実践奨励校の指定や巡回指導教員活用事業などを通して指導方法の工夫・改善に取り組むとともに、ＩＣＴの活用や、能動的学習（アクティブ・ラーニング）など、望ましい指導の在り方を研究する。	B
5	豊かな心の育成	読書活動や人権教育、道徳教育の充実を促し、命を大切にする心や他人を思いやる心、自律心や規範意識等の醸成に努める。また、情操を育むためには自然とのふれあいは極めて重要と考え、ふぉれすと鉱山等を利用した自然体験活動を促す。	A
6	体力の向上	全国調査の結果、小学校では実施項目の多くが全道や全国の平均値を上回るほど、これまでの一校一実践の取組や、体育コーディネーター派遣による成果がみられているので、引き続きこれら事業の充実に努める。	B
7	健康教育の推進	食育の推進に努め、児童生徒の望ましい食習慣を確立するとともに、学校医や関係機関等と連携を図り、薬物乱用防止や疾病の予防など健康を考える学習機会の充実を促す。	B
8	特色ある教育活動	当市の特性を生かしたスキー授業や温泉入浴体験、環境学習等の事業を引き続き推進する。また、英語（国際理解）教育については、登別市小中学校英語教育推進プログラムに基づき、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成に努めるとともに、国際観光都市としての環境を活用し、外国人観光客に英語で案内するなど、国際感覚を養う活動の推進を図る。	A
9	校種間の連携	幼保・小・中連携協議会を中心に、子ども同士の交流や、教職員が教育内容や指導方法について相互理解を深められるような連携に努める。また、中一ギャップや学力向上に対応するために、系統的、継続的な学習指導や生活指導を通して小中一貫した教育の推進に取り組む。	B
10	安全対策	防災に関しては、児童生徒が災害時に適切な行動をとることができる指導の徹底と、火災や地震・津波等に対応した避難訓練の充実を促す。通学路の安全に関しては、登別市通学路交通安全推進プログラムに基づき、通学路の危険箇所の合同点検や道路管理者による改善など、適切な対応に努める。学校	B

		施設については鷲別小学校建替工事や青葉小学校耐震化改修工事を継続するとともに、登別中学校の耐震改修実施設計に取り組む。食におけるアレルギー対応や、学校での教育活動における事故対応については、北海道教育委員会から発出される通知や手引き等に基づいた対応がなされるよう指導する。また情報教育や消費者教育の推進を奨励し、適切に対処できる知識の習得と犯罪やトラブルの未然防止に努める。	
11	いじめ・不登校への対応	生徒指導担当者会議や登別市不登校・いじめ等対策会議において、情報交流や研修内容の充実に努めるとともに、登別市及び各学校が策定している「いじめ防止基本方針」に基づいて適切に対応する。	A
12	特別支援教育	一人ひとりの教育的ニーズに応じた「個別の教育支援計画」に基づき、登別市特別支援教育振興協議会と連携し、幼少期から一貫した支援が図られるよう努める。	A
13	社会教育	今年度からスタートする「第五次社会教育中期計画」に基づき、各種事業や施策を展開する。また、市民意識の醸成とふるさとに対する愛着や誇りを高めることを目的に、郷土資料館や市立図書館、登別市文化・スポーツ振興財団等のネットワーク化を図り、登別の自然や暮らし、歴史や文化、産業などを学ぶ「ふるさと学（登別地域学）」を構築していく。	B
14	家庭教育	家庭や地域の教育力の向上を図るため、引き続き家庭教育学級における講演会などの学習活動や、「通学合宿」「放課後子ども教室」「家族の時間づくりプロジェクト」の取組を進めていく。また、昨年度「学校支援地域本部事業」が文部科学大臣表彰を受けたことは、子どもたちに豊かな学びの場を提供してきた活動が高く評価されたものなので、活動のさらなる充実が図られるよう実行委員会と連携を深めていく。	A
15	青少年の健全育成	青少年センターを中心に登別市子ども会育成連絡協議会や社会教育関係団体、地域の方々のご協力をいただき、街頭指導の強化、不審者情報に対応するメール配信体制の充実や、子どもたちを見守るパトロール活動の実施、子ども１１０番の家の拡充などに努め、非行の未然防止と良好な環境の確保に取り組む。	B
16	文化・スポーツの振興	西いぶり定住自立圏合同文化事業を主管し、「文楽」を鑑賞する機会を設ける。また、当市には地域に残る郷土芸能や各種行事がありますので、児童生徒の積極的な活動と活動を奨励し、伝統文化の継承と郷土を愛する心の育成に努める。また、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、子どもたちの夢を育むとともに、競技スポーツの振興を目的に、オリンピアン（大会出場者）を招き、講演会や実技指導等の機会を設ける。	A
17	学校給食	健康の保持増進と体位の向上を目的に、安全で安心な給食を提供するとともに地場産品を取り入れ、地域の自然や産業などに対する理解を深めていく。	A
18	市立図書館	質の高い魅力ある図書館づくりを目指して、市民ニーズに応じた図書資料の整備と、幅広い情報の提供や発信に努めるとともに図書ボランティアとの連携によるブックスタート・ライブラリースタート事業や図書館講座などを通して、利用者の増加を図る。	A

Ⅳ 点検・評価に関する学識経験者の意見等

1　地域とともにある学校
・コミュニティ・スクールについては、登別市は進んでいると思うが、取り組んでいる他市町の成果等を目安にしながら、今までの取組とこれからの取組とのズレや、満足感や不満足感などをおさえた中で進めていくべきではないか。
・コミュニティ・スクールによる取組内容に関して、学校が取り組む内容や成果をより明確にし学校間で還元し合う中で、各校が具現化できる目標をしっかり持って進めていくことができるよう、支援を重ねてほしい。

2　確かな学力の向上
・調査の分析は非常に重要。分析の仕方はある程度継続して行うことで、子どもの実態をパターンとして捉えることができると考える。

3　読書活動
・全体的には、子どもたちが本に親しもうとしている状況をとらえることができた。
・昨年度の点検内容に、「子どもたちが本に親しむことのできる環境づくり」とあるが今年度の中にどのように位置づけられているか見えにくいと感じた。連絡会議の参加人数の変化などを見ると、昨年度と比較すると減少傾向にも見える。

4　教職員の指導力の向上
・学年の学級数が少ないと、教員同士の教え合いが成り立たなくなる状況もある。登別市教育研究会や巡回指導教員活用事業、メンター型システムなどこれからも十分活用して、若い教員の育成や教員の関わり合いで学校全体の指導力向上が図られるよう進めてほしい。
・一日の流れ（朝の打ち合わせから帰りの会まで）の中で研修の内容ととらえて行う研修が有効ではないか。そういう視点で見ることが、異校種への理解にもつながる。

8　特色ある教育活動
・多様な活動がなされていると感じる。継続した取組を期待している。
・「郷土を生かした学習」と一般的にはよく叫ばれているが、地域を愛する心を育成するために、この「特色ある教育活動」の中で郷土を生かした活動を展開し、6年間の中で郷土に誇りを持てる子どもたちを育てたらどうか。
・登別市民として入浴体験は非常に意義深いと考えるのでこれからも継続してほしい。
・キウシト湿原は、登別の自然環境の素晴らしさを学ぶことのできる施設なので、郷土資料館やふぉれすと鉱山同様、これからも一層活用してほしい。
・英語教育に関して、外国人観光客にあいさつや案内ができる子どもたちの育成という視点が非常に大切だと感じている。これからも英語の指導に力を入れていくことを期待している。

9　校種間の連携
・幼稚園や保育所の視察に関しては、対象を今以上に広げるべき。小１プロブレムなどの課題も一般的に聞かれるので、昨年度より進めていく姿勢がほしい。

・「小学校は赤ちゃん扱いをしている」と幼稚園の先生が言っているというのを以前聞いたことがある。初任者段階の研修が重要と考える。学校間の連携は出前授業や授業参観等進めていると思うが、中１ギャップや小１プロブレムというような言葉がなくなるよう、今以上に期待をしている。

１０　安全対策
・情報教育に関して、各学校において児童生徒や保護者に向けて安全教室を開催しているが、先生方への理解度を高めるための手立てを厚くしていくことも必要と感じる。
・台風だけではなく雷や洪水など身の回りには危険が多くある状況で、先生方がさまざまな事例をとらえていて子どもたちに話ができる状況が望ましいと考える。

１１　不登校・いじめ対応
・不登校等やいじめに関しては、出現件数や認知件数が減っていると同時に、相談の件数も減少傾向にあることから、このような良い状況がみられているので、このまま継続して取組を続けてほしい。

１３　社会教育
・ふるさと学と関連して、たとえば「登別マスターズ」として、50歳以上などという大きな枠でくくり、図書館や体育協会、文化・スポーツ振興財団、当該施設の中で取り組むことはできないか。スポーツでいえば、ある種目の中で「○○歳以上のチャンピオン」というようにして、いろいろな場に参加することで健康増進や人同士の輪につなげていく。ふるさと登別とつなげていきながら進めることができないか。

１６　文化・スポーツの振興
・ツーデーマーチのようなウォーキングの企画等をしてみたらどうか。

１８　図書館
・様々な取組をしていることを理解した。
・ライブラリースタートは、できる限り参加する人数を増やす努力をしてほしい。
・貸出冊数は減っているが、学校の団体貸出の仕方を変えたことなどがあることが原因しており、数字に表れない隠れた読者がいると理解している。

Ⅴ 評価のまとめ

平成２８年度の登別市教育委員会の重点施策として点検・評価で取り上げた１８項目の評定結果は、

Ａ：達成しているもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・	１０項目
Ｂ：おおむね達成しているもの・・・・・・・・・・・・・・	８項目
Ｃ：おおむね達成しているものの一部課題があるもの・・・・	０項目
Ｄ：達成に向け困難な課題があるもの・・・・・・・・・・・	０項目

であり、教育行政執行方針に沿って適切な教育行政の執行がなされたと考えております。今後も、この点検・評価の効果を高めるために、各種基本計画の内容を再確認するとともに、目標に向かってより多くの具体的な改善策が提示されるようにしなければならないと考えております。また、ＰＤＣＡ（計画・実行・確認・改善）のマネジメントサイクルを生かしたシステムづくりに心がけ、登別市の教育行政の推進に役立ててまいります。

Ⅵ 参 考 資 料

１　平成28年度教育行政執行方針

平成二十八年第一回登別市議会定例会にあたり、教育委員会所管の行政執行に関する基本方針を申し上げます。

少子高齢化やグローバル化が急速に進展する中で、活力ある地域社会を実現していくためには、一人ひとりがより主体的に社会とかかわり、次代を創り出していく力を身に付けることが必要であり、教育が果たす役割はますます重要になってきております。

こうした中、中央教育審議会においては、新しい時代の教育や学校の在り方、地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方等について審議が進められております。

教育委員会としましては、これらの動向をしっかりと見極めながら、子どもたちが社会の変化に対応し新しい時代を切り拓く「生きる力」の育成に努めるとともに、市民だれもが主体的に学び続け、その成果を生かすことのできる、活力ある生涯学習社会の実現を目指してまいります。

以下、平成二十八年度の重点項目について申し上げます。

はじめに学校教育についてでありますが、当市においては知・徳・体の調和のとれた子どもたちの育成を目指して、学校や家庭、地域、行政が連携した「地域とともにある学校づくり」を推進しております。昨年開催した教育フォーラムでは、コミュニティ・スクールにかかわる方々が一堂に集まり、社会全体で子どもを育てる意識の共有を図ることができましたので、今後とも各学校の運営協議会の活動が円滑に進むよう支援をしてまいります。

また、土曜日における豊かな教育環境を子どもたちに提供するため、幌別中学校を実践校、他の学校を協力校として、引き続き土曜授業を実施してまいります。

確かな学力の向上については、全国学力・学習状況調査において、小・中学校ともに一部の教科で全国の正答率を超えるなど、各学校の取組が着実に成果となって表れてきております。今後も校長会と共同で設置している教育課程課題検討委員会で協議をしながら、指導の改善に努めてまいります。

また、学力の二極化などの課題に対応するため、学校が取り組む補充学習に加え、教育支援室や地域の方々による「放課後学習教室」の充実を図り、児童生徒の基礎学力の定着や学ぶ意欲の向上に努めてまいります。

学力向上の一端を担う読書活動については、朝読書活動や図書ボランティアによる読み聞かせの充実とともに、「学校図書館担当者・学校図書ボランティア連絡会議」を活用した情報の交流に努め、学校図書館の活性化を図ってまいります。

また、学校図書館司書の配置は、児童の図書室利用や本の貸し出し冊数が大幅に増えるなど、大きな効果を上げておりますので、引き続き学校図書館機能の充実に努めてまいります。

教職員の指導力の向上については、研究実践奨励校の指定や巡回指導教員活用事業、地域連携研修事業などを通して指導方法の工夫・改善に取り組むとともに、ＩＣＴの活用や能動的学習（アクティブ・ラーニング）など、望ましい指導の在り方を研究してまいります。

また、「学校力向上に関する総合実践事業」の成果が、各学校に波及されるよう支援してまいります。

豊かな心の育成については、読書活動や人権教育、道徳教育の充実を促し、命を大切にする心や他人を思いやる心、自律心や規範意識等の醸成に努めてまいります。

また、情操を育むためには、自然とのふれあいは極めて重要と考えておりますので、ふぉ

れすと鉱山等を利用した自然体験活動を促してまいります。
体力向上については、全国調査の結果、小学校では実施項目の多くが全道や全国の平均値を上回るなどこれまでの一校一実践の取組や、体育コーディネーター派遣による成果が見られておりますので、引き続きこれらの事業の充実に努めてまいります。
健康教育については食育の推進に努め、児童生徒の望ましい食習慣を確立するとともに学校医や関係機関等と連携を図り、薬物乱用防止や疾病の予防など健康を考える学習機会の充実を促してまいります。
特色ある教育については、当市の特性を生かしたスキー授業や温泉入浴体験、環境学習等の事業を、引き続き推進してまいります。
また、英語（国際理解）教育については、登別市小中学校英語教育推進プログラムに基づき、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成に努めるとともに、国際観光都市としての環境を活用し、外国人観光客に英語で案内をするなど、国際感覚を養う活動の推進を図ってまいります。
校種間の連携については、引き続き、幼保・小・中連携協議会を中心に、子ども同士の交流や、教職員が教育内容や指導方法について相互理解を深められるような連携に努めてまいります。
また、中一ギャップや学力向上に対応するために、系統的、継続的な学習指導や生活指導を通して、小中一貫した教育の推進に取り組んでまいります。
安全対策についてでありますが、防災に関しては、児童生徒が災害時に適切な行動をとることができる指導の徹底と、火災や地震・津波等に対応した避難訓練の充実を促してまいります。
通学路の安全に関しては、登別市通学路交通安全推進プログラムに基づき、通学路の危険個所の合同点検や道路管理者による改善など、適切な対応に努めてまいります。
学校施設については、鷲別小学校建替工事や青葉小学校耐震化改修工事を継続するとともに、登別中学校の耐震改修実施設計に取り組んでまいります。
食におけるアレルギー対応や、学校での教育活動における事故対応については、北海道教育委員会から発出される通知や手引き等に基づいた対応がなされるよう指導してまいります。
また、情報教育や消費者教育の推進を奨励し、適切に対処できる知識の習得と犯罪やトラブルの未然防止に努めてまいります。
いじめや不登校への対応については、生徒指導担当者会議や、登別市不登校・いじめ等対策会議において、情報交流や研修内容の充実に努めるとともに、登別市及び各学校が策定している「いじめ防止基本方針」に基づいて、適切に対応してまいります。
特別支援教育については一人ひとりの教育的ニーズに応じた「個別の教育支援計画」に基づき、登別市特別支援教育振興協議会と連携し幼少期から一貫した支援が図られるよう努めてまいります。
次に、社会教育についてでありますが、今年度からスタートする「第五次社会教育中期計画」に基づき、各種事業や施策を展開してまいります。
また、市民意識の醸成とふるさとに対する愛着や誇りを高めることを目的に郷土資料館や市立図書館、登別市文化・スポーツ振興財団等のネットワーク化を図り、登別の自然や暮らし、歴史や文化、産業などを学ぶ「ふるさと学（登別地域学）」を構築してまいります。
家庭教育については、家庭や地域の教育力の向上を図るため、引き続き、家庭教育学級における講演会などの学習活動や、「通学合宿」、「放課後子ども教室」、「家族の

時間づくりプロジェクト」の取組を進めてまいります。
　また、昨年度、「学校支援地域本部事業」が文部科学大臣表彰を受けたことは、子どもたちに豊かな学びの場を提供してきた活動が高く評価されたものでありますので、活動のさらなる充実が図られるよう実行委員会と連携を深めてまいります。
　青少年の健全育成については、青少年センターを中心に、登別市子ども会育成連絡協議会や社会教育関係団体、地域の方々のご協力をいただき、街頭指導の強化、不審者情報に対応するメール配信体制の充実や、子どもたちを見守るパトロール活動の実施、子ども一一〇番の家の拡充などに努め、非行の未然防止と良好な環境の確保に取り組んでまいります。
　文化・スポーツの振興については、昨年度、民間団体による「雅楽」の公演など、質の高い文化にふれる体験の場を与えていただき、大きな成果を上げました。今年度は西いぶり定住自立圏文化事業を主管し「文楽」を鑑賞する機会を設けてまいります。
　また、当市には地域に残る郷土芸能や各種行事がありますので、児童生徒の積極的な活動と参加を奨励し、伝統文化の継承と、郷土を愛する心の育成に努めてまいります。
　また、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、子どもたちの夢を育むとともに、競技スポーツの振興を目的に、オリンピアン（大会出場者）を招き講演会や実技指導等の機会を設けてまいります。
　学校給食については、健康の保持増進と体位の向上を目的に、安全で安心な給食を提供するとともに、地場産品を取り入れ、地域の自然や産業などに対する理解を深めてまいります。
　図書館については、質の高い魅力ある図書館づくりを目指して、市民ニーズに応じた図書資料の整備と、幅広い情報の提供や発信に努めるとともに、図書ボランティアとの連携によるブックスタート・ライブラリースタート事業や図書館講座などを通して、利用者の増加を図ってまいります。
　以上、平成二十八年度の重点について申し上げましたが、教育委員会としましては、市長と教育委員会が教育の方向性を共有し、様々な教育課題の解決を図る場として設置された総合教育会議を通して、市長との連携をより深めながら、教育行政の推進に努めてまいります。
　市民の皆様並びに議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

教育に関する具体的な計画とその点検・評価の流れ

